
第3期南城ちゃーGANJU CITY 創生戦略

資料編

2026年3月

沖縄県 南城市

【 目 次 】

I	市民アンケート調査結果.....	1
	（1）実施概要.....	1
	（2）調査結果.....	1
II	南城市の Well-Being 指標について.....	35
1.	地域幸福度 Well-Being 指標とは.....	35
	（1）Well-Being 指標とは.....	35
	（2）主観・客観指標について.....	36
2.	南城市の地域幸福度 Well-Being 指標について.....	38
	（1）南城市の幸福度・生活満足度.....	38
	（2）分野別結果.....	40
3.	南城市の地域幸福度 Well-Being 指標の活用.....	43
	（1）24 分野の取組方向性の検討.....	43
	（2）施策の優先度.....	45

I 市民アンケート調査結果

(1) 実施概要

市民アンケート調査の実施概要は次のとおり。

【市民アンケート調査の実施概要】

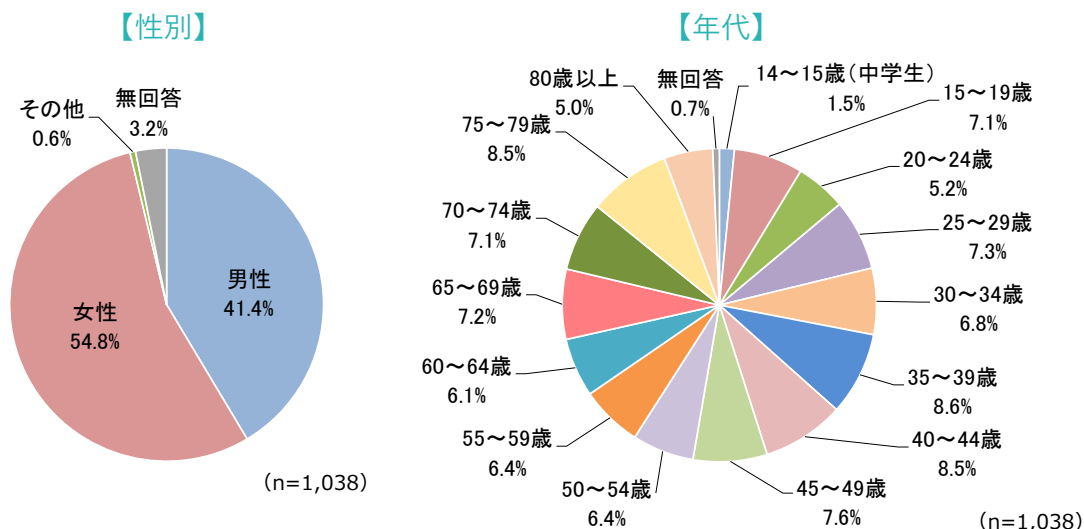
目的	市民の「暮らしやすさ」や「幸福感」を把握し、第3期戦略に反映させることを目的として実施。
対象	性別・年代別・居住地域別に配慮して無作為抽出した市民 5,000 人
方法	紙の調査票を郵送配布・回収。 なお、回答者の負担を軽減し回答率を向上させるため、紙の調査票回答と、専用アンケートページを設置し、インターネットからも回答できるようにした。
期間	令和7年8月
回答数（率）	1,038 人（20.8%）

※集計において割合は小数点第2位を四捨五入して表記しているため、割合の和と計、表記の計算結果と計が一致しない場合があります。

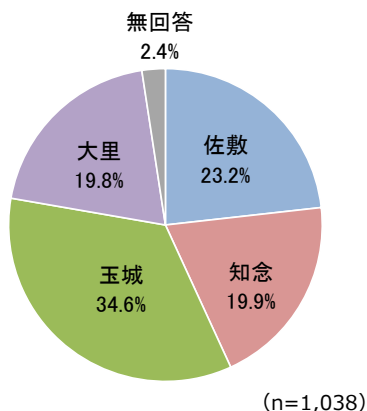
(2) 調査結果

1) 属性

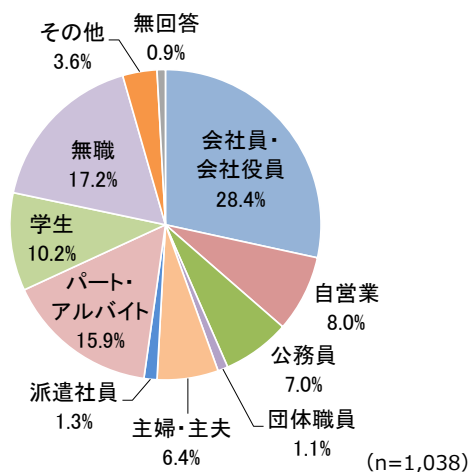
- 回答者の属性は次のとおり。



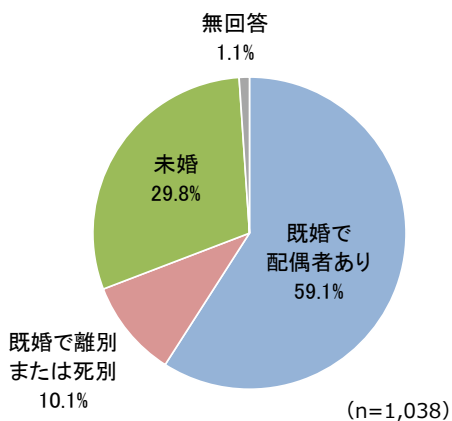
【居住地】



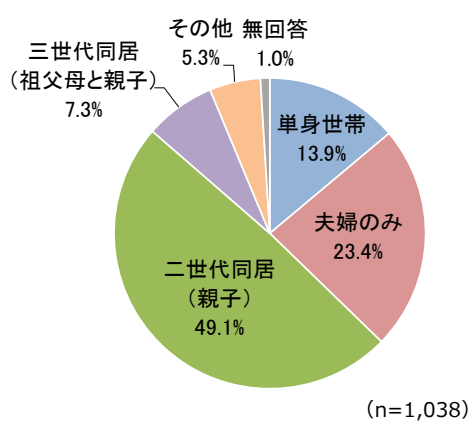
【職業】



【配偶者の有無】

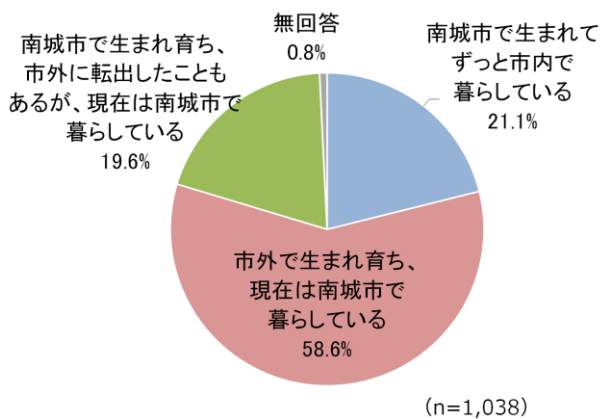


【世帯】



- 市外での居住経験について、58.6%と6割弱がIターンであった。ずっと市内で暮らしている方とUターンはそれぞれ2割となっています。
- 大里ではIターンが65.5%と6割半ばと多くなっています。

【市外での居住経験】

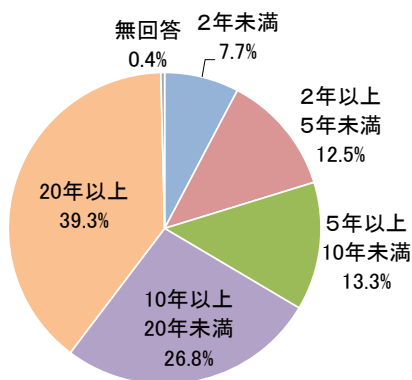


地域別	南城市で生まれ育ち、市外に転出したこともあるが、現在は南城市で暮らしている		市外で生まれ育ち、現在は南城市で暮らしている		無回答
	人数	割合	人数	割合	
佐敷(n=241)	60	24.9	137	56.8	44
知念(n=207)	41	19.8	118	57.0	46
玉城(n=359)	81	22.6	205	57.1	69
大里(n=206)	32	15.5	135	65.5	39

全ての地域でIターンが5割を超えるが特に大里ではIターンが多い

- 市内での居住年数（通算）について、「20年以上」が39.3%で約4割と最も多く、次いで「10年以上20年未満」（26.8%）、「5年以上10年未満」（13.3%）等となっています。
- 地域別にみると、全ての地域で「20年以上」が最も多いが、知念では「10年以上20年未満」が35.3%と全体と比較して8.5pt多く、大里では19.9%と6.9pt少なくなっています。

【市内での居住年数（通算）】



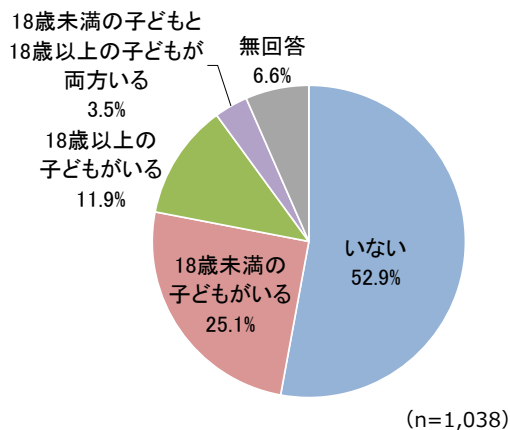
(n=1,038)

		2年未満	2年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
地域別	佐敷(n=241)	14 5.8	30 12.4	35 14.5	60 24.9	102 42.3	-
	知念(n=207)	9 4.3	26 12.6	20 9.7	73 35.3	79 38.2	-
	玉城(n=359)	37 10.3	44 12.3	47 13.1	97 27.0	133 37.0	1 0.3
	大里(n=206)	20 9.7	30 14.6	33 16.0	41 19.9	82 39.8	-

全ての地域で20年以上が最も多いが
知念では10年以上と長く住んでいる方が多く、
大里では10年未満（40.3%）が多い。

- 18歳未満で同居している子どもの有無について、「いない」が52.9%で最も多く、次いで「18歳未満の子どもがいる」(25.1%)、「18歳以上の子どもがいる」(11.9%)などの順となっています。
- 地域別にみると、全ての地域で「いない」が最も多いが、大里では「いない」(45.6%)が全体と比較して7.3pt少なく、「18歳未満の子どもがいる」(31.6%)が6.5pt6多くなっています。

【18歳未満で同居している子どもの有無】

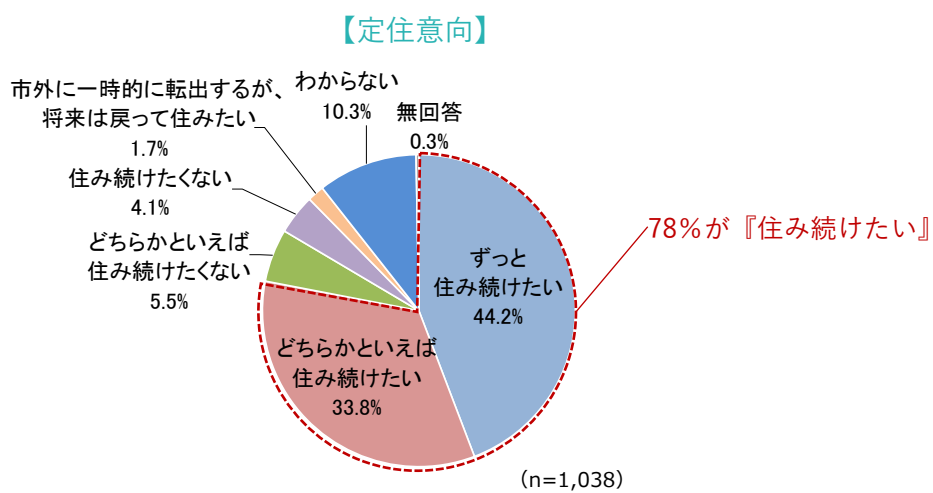


		いない	18歳未満の子どもがいる	18歳以上の子どもがいる	18歳未満の子どもと18歳以上の子どもが両方いる	無回答
地域別	佐敷(n=241)	128 53.1	69 28.6	29 12.0	5 2.1	10 4.1
	知念(n=207)	117 56.5	45 21.7	19 9.2	7 3.4	19 9.2
	玉城(n=359)	198 55.2	78 21.7	43 12.0	17 4.7	23 6.4
	大里(n=206)	94 45.6	65 31.6	27 13.1	7 3.4	13 6.3

大里では18歳未満の子どもが多い

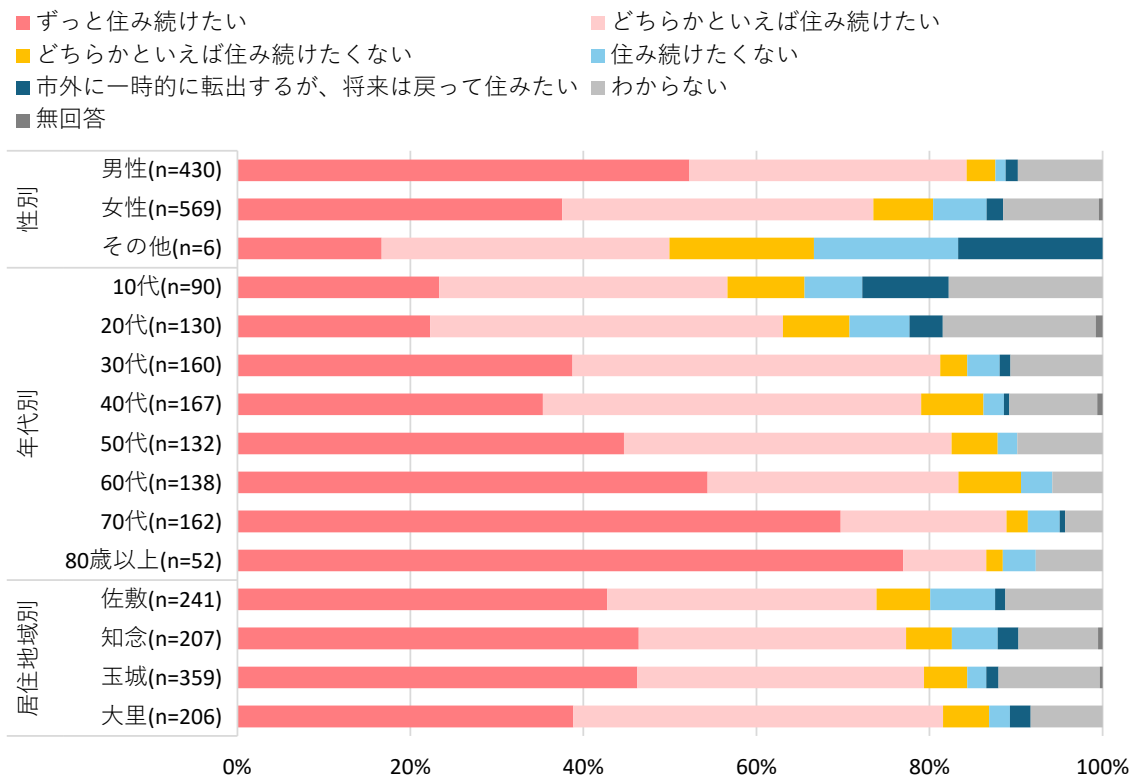
2) 南城市への定住意向

- 南城市への定住意向について、「ずっと住み続けたい」が44.2%で最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が33.8%と、『住み続けたい』は78.0%を占めています。また、「市外に一時的に転出するが、将来は戻って住みたい」というUターン意向は1.7%となっています。
- 一方、「どちらかといえば住み続けたくない」と「住み続けたくない」の合計が9.6%と約1割みられました。



- 属性別にみると、性別、年代別、地域別の全ての属性で『住み続けたい』が5割を超えています。
- 性別では、女性より男性の『住み続けたい』意向が高く、年代別では概ね年代が上がるにつれ「ずっと住み続けたい」が高くなっています。地域別では、大里の『住み続けたい』が8割を超え、他地域と比較して高いが、知念と玉城、佐敷は「ずっと住み続けたい」の割合が4割を超えています。

【性別・年代別・地域別×定住意向】

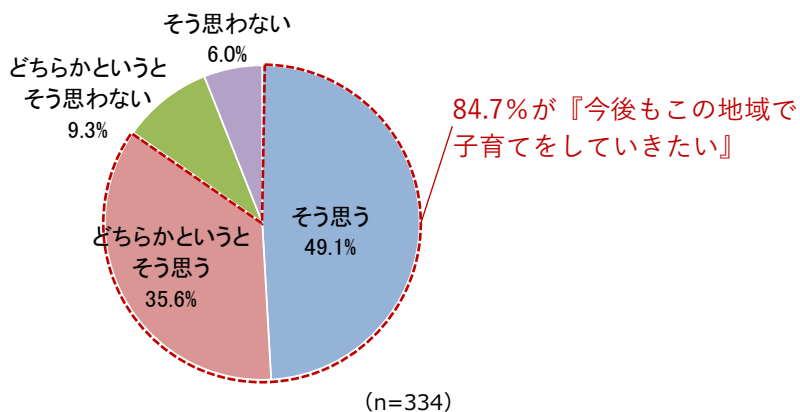


(単位：%)

		ずっと住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	市外に一時的に転出するが、将来は戻って住みたい	わからない	無回答
性別	男性(n=430)	52.3	32.1	3.3	1.2	1.4	9.8	-
	女性(n=569)	37.6	36.0	6.9	6.2	1.9	11.1	0.4
	その他(n=6)	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-
年代別	10代(n=90)	23.3	33.3	8.9	6.7	10.0	17.8	-
	20代(n=130)	22.3	40.8	7.7	6.9	3.8	17.7	0.8
	30代(n=160)	38.8	42.5	3.1	3.8	1.3	10.6	-
	40代(n=167)	35.3	43.7	7.2	2.4	0.6	10.2	0.6
	50代(n=132)	44.7	37.9	5.3	2.3	-	9.8	-
	60代(n=138)	54.3	29.0	7.2	3.6	-	5.8	-
	70代(n=162)	69.8	19.1	2.5	3.7	0.6	4.3	-
	80歳以上(n=52)	76.9	9.6	1.9	3.8	-	7.7	-
地域別	佐敷(n=241)	42.7	31.1	6.2	7.5	1.2	11.2	-
	知念(n=207)	46.4	30.9	5.3	5.3	2.4	9.2	0.5
	玉城(n=359)	46.2	33.1	5.0	2.2	1.4	11.7	0.3
	大里(n=206)	38.8	42.7	5.3	2.4	2.4	8.3	-

- 18歳未満で同居する子どもがいる方で、今後もこの地域で子育てしていきたいかについて、「そう思う」が49.1%で最も多く約5割を占め、次いで「どちらかというと思う」(35.6%)と合計すると、84.7%が今後もこの地域で子育てしていきたいと回答しています。
- 一方、「どちらかというと思わない」が9.3%、「そう思わない」が6.0%みられます。

【今後もこの地域で子育てしたいか（18歳未満で同居する子どもがいる方）】



- 地域別にみると、全ての地域で『そう思う（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計）』が8割を超えているが、知念と玉城では「そう思う」の割合が5割を超え、『今後もこの地域で子育てをしていきたい』と思っている方が多い一方、大里では4割をわずかに下回っています。

【地域別×今後もこの地域で子育てしたいか（18歳未満で同居する子どもがいる方）】

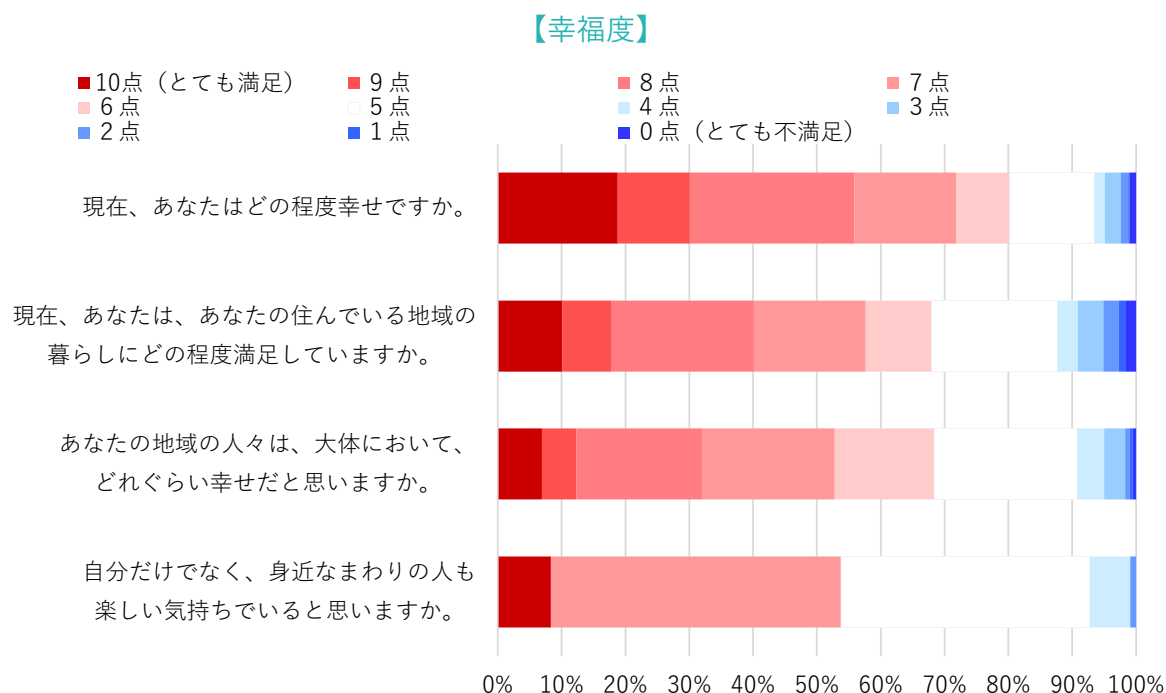
		そう思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	そう思わない
地域別	佐敷(n=86)	40 46.5	32 37.2	9 10.5	5 5.8
	知念(n=59)	34 57.6	17 28.8	4 6.8	4 6.8
	玉城(n=103)	57 55.3	31 30.1	7 6.8	8 7.8
	大里(n=79)	31 39.2	37 46.8	10 12.7	1 1.3

全ての地域で『そう思う』が8割を超えるが、知念、玉城では「そう思う」が全体と比較して多い。

3) 幸福度について

市民が「幸せ」を感じられるまちづくりの方向性を検討するため、現在の幸福度について、0点から10点の11段階で評価してもらいました。

- 幸福度「現在、あなたはどの程度幸せですか」について、平均は7.4点で、6点以上が80.2%を占め、4点以下は6.5%となっています。
- 生活満足度「現在、あなたは、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか」について、平均は6.6点で、6点以上は67.9%、4点以下は12.3%となっています。
- 地域の幸福度「あなたの地域の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか」について、平均は6.6点で、6点以上は68.4%、4点以下は9.2%です。
- 周りも楽しい「自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思いますか」について、「非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」の合計が53.8%、「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」の合計が7.2%となっています。

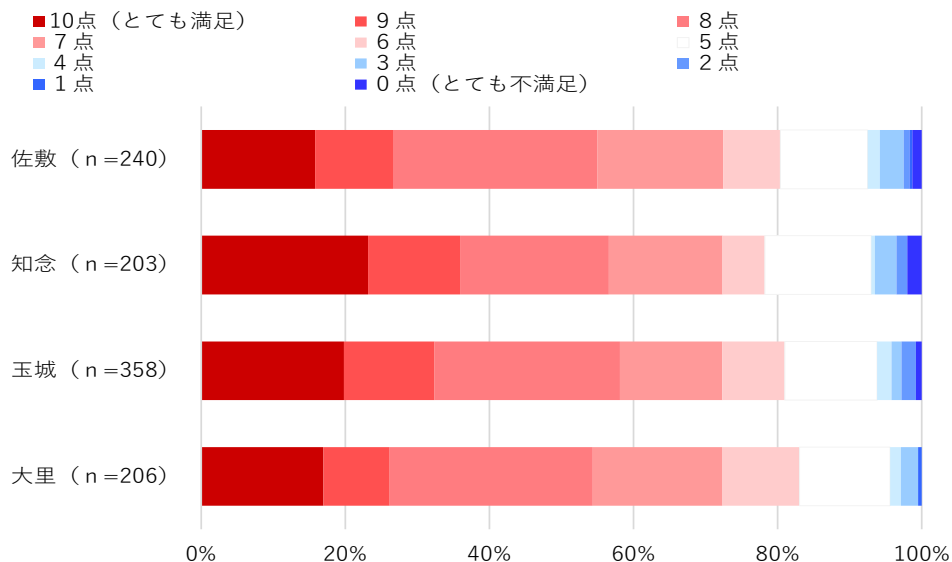


※「自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいると思いますか」については、「非常にあてはまる」から「全くあてはまらない」の5段階で聞か設問であるが、上記グラフでは、「非常にあてはまる」を8～10点、「ある程度あてはまる」を6～7点、「どちらともいえない」を5点、「あまりあてはまらない」を3～4点、「全くあてはまらない」を0～2点として表記しています。

① 現在、あなたはどの程度幸せですか。

- 地域別にみると、平均は佐敷 7.3 点、知念 7.5 点、玉城 7.5 点、大里 7.4 点と、大きな差は見られませんでした。
- 全ての地域で 6 点以上が 8 割前後となっていますが、知念では 10 点の割合が 23.2% で最も多く 2 割を超え、他地域と比較して高くなっています。

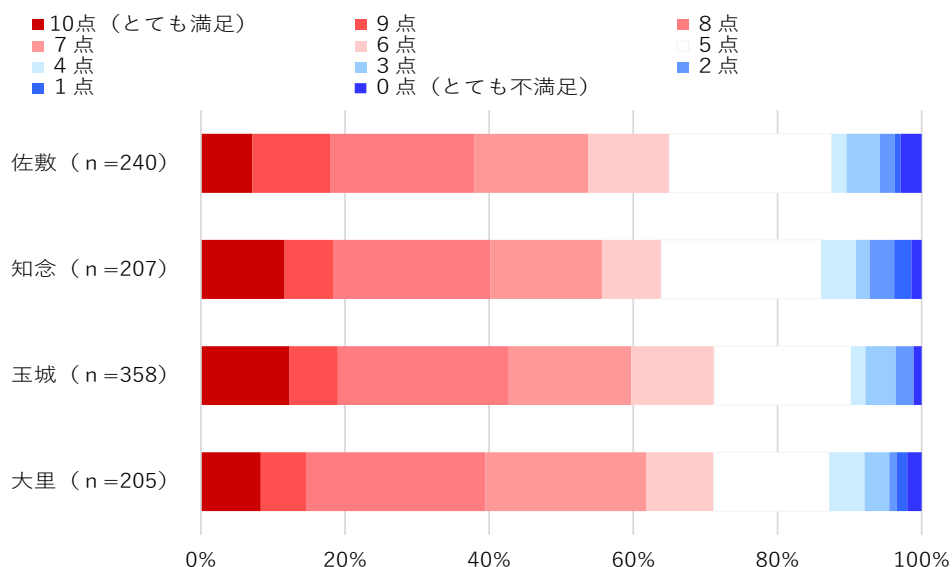
【地域別×幸福度】



② 現在、あなたは、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。

- 地域別にみると、平均は佐敷 6.5 点、知念 6.5 点、玉城 6.8 点、大里 6.7 点と、大きな差は見られませんでした。
- 全ての地域で 6 点以上が 6 割を超えているが、知念と玉城では 10 点がそれぞれ 1 割を超え、生活満足度が高くなっています。

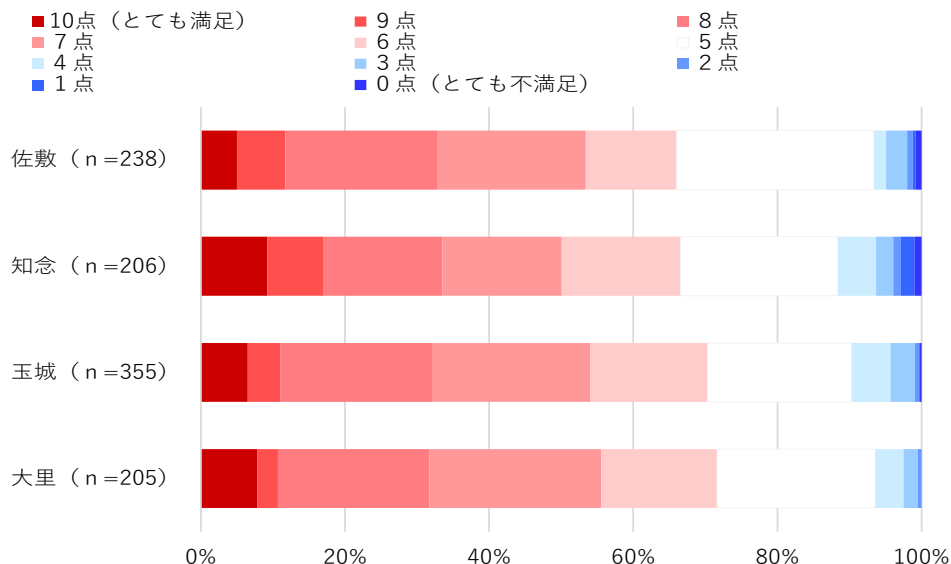
【地域別×生活満足度】



③ あなたの地域の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか。

- 地域別にみると、平均は佐敷 6.5 点、知念 6.5 点、玉城 6.6 点、大里 6.7 点と、大きな差は見られませんでした。
- 全ての地域で 6 点以上が 6 割を超えていますが、知念では 10 点が 9.2% で 1 割を超えている一方、4 点未満も 1 割を超え、他地域と比較して高くなっています。

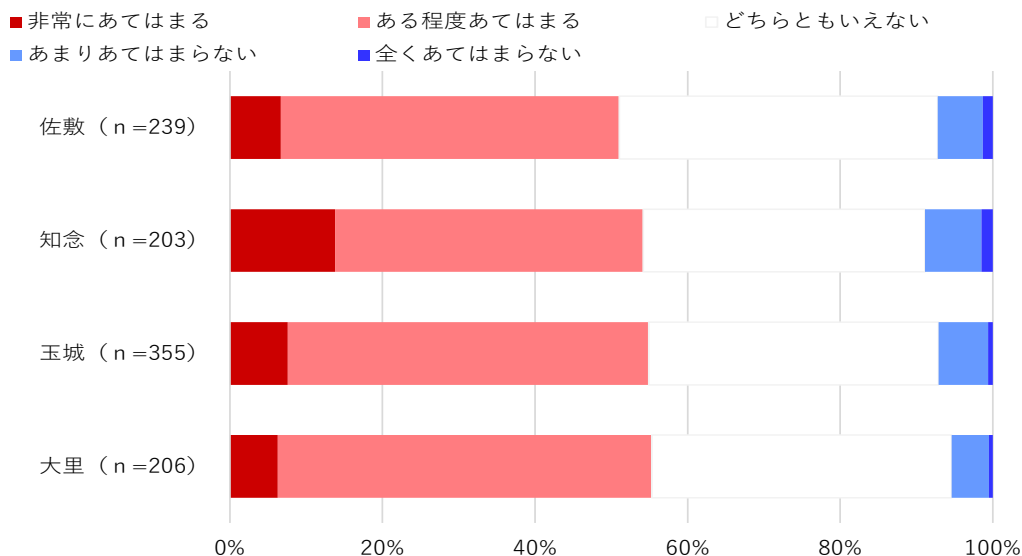
【地域別×地域の幸福度】



④ 自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちだと思いますか。

- 地域別にみると、全ての地域で「ある程度あてはまる」が最も多く、『あてはまる（非常にあてはまる」と「ある程度あてはまる」の合計』は 5 割を超えています。
- 知念では、地域の幸福度と同様に、「非常にあてはまる」が 1 割を超えている一方、『あてはまらない』も、僅差ではありますが他地域と比較して高くなっています。

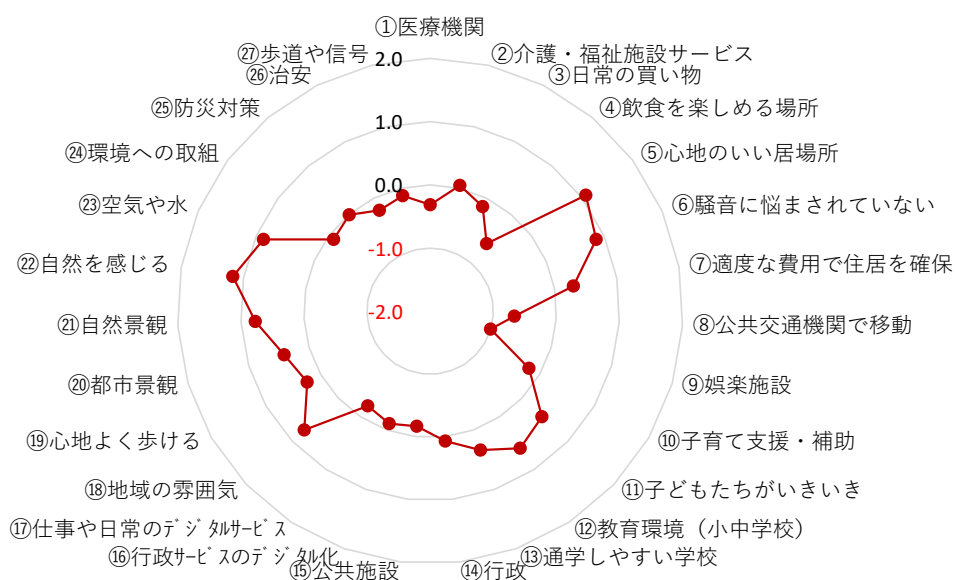
【地域別×周りも楽しい】



4) 生活環境について

- 生活環境に関して、「非常にあてはまる」を2点、「ある程度あてはまる」を1点、「あまりあてはまらない」を-1点、「あてはまらない」を-2点として平均点を算出しました（最高2.00、最低-2.00）。
- 平均点が最も高かったのは「②暮らしている地域では、身近に自然を感じるができる」の1.17、次いで「⑤自宅には、心地のいい居場所がある」(1.07)、「②暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる」(0.87)となっています。
- 一方、平均点が低かったのは「⑨私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」で-1.00、次いで「⑧私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」(-0.66)、「④私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している」(-0.61)となっています。

【生活環境】

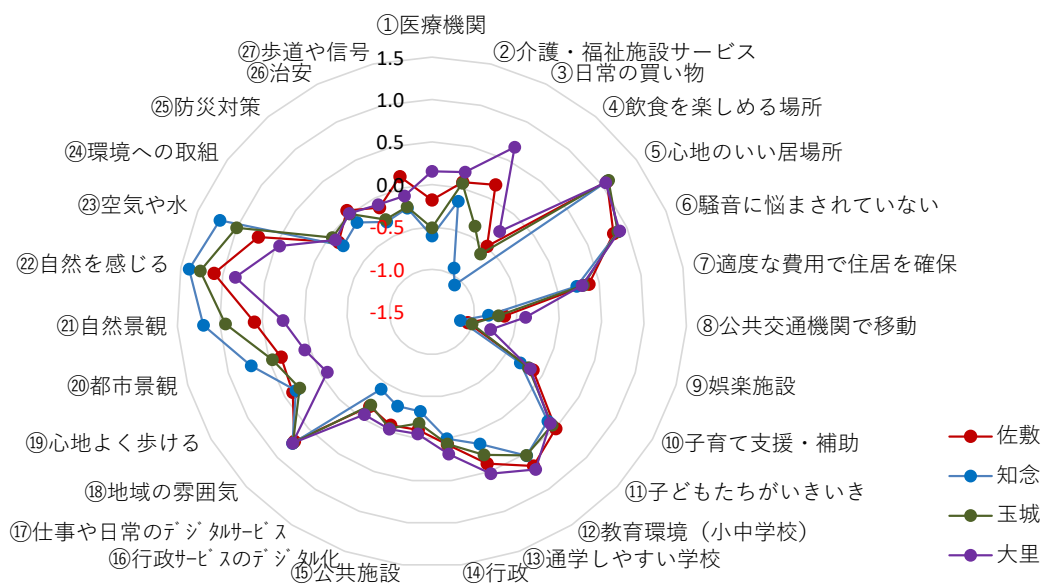


順位	指標	平均点
1位	②②自然を感じる	1.17
2位	⑤心地のいい居場所	1.07
3位	②③空気や水	0.87
4位	⑥騒音に悩まされていない	0.86
5位	②①自然景観	0.77
6位	⑱地域の雰囲気	0.74
7位	⑫教育環境（小中学校）	0.60
8位	⑪子どもたちがいきいき	0.43
9位	②⑩都市景観	0.41
10位	⑬通学しやすい学校	0.34
11位	⑦適度な費用で住居を確保	0.30
12位	⑲心地よく歩ける	0.25
13位	⑭行政	0.07
14位	②②介護・福祉施設サービス	0.05

順位	指標	平均点
15位	②⑤防災対策	-0.01
16位	②④環境への取組	-0.10
17位	①⑥行政サービスのデジタル化	-0.11
18位	②⑦歩道や信号	-0.12
19位	③③日常の買い物	-0.15
20位	①⑤公共施設	-0.16
21位	⑩⑩子育て支援・補助	-0.19
22位	①⑦仕事や日常のデジタルサービス	-0.21
23位	②⑥治安	-0.21
24位	①①医療機関	-0.32
25位	④④飲食を楽しめる場所	-0.61
26位	⑧⑧公共交通機関で移動	-0.66
27位	⑨⑨娯楽施設	-1.00

- 地域別にみると、「③日常の買い物」について、全体（-0.15）に対し知念（-0.92）では0.77低く、大里（0.67）では0.82高くなっており、「②①自然景観」について、全体（0.77）に対し大里（0.25）では0.52低くなっています。

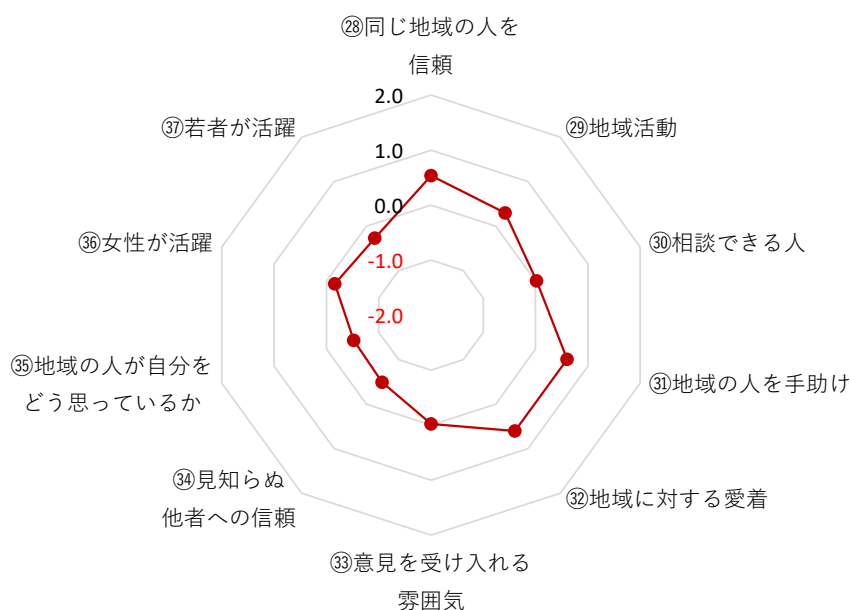
【地域別×生活環境】



5) 地域の間人間関係について

- 地域の間人間関係について平均点が最も高かったのは「③①私は、地域の間人が困っていたら手助けをする」で0.60、次いで「③②私は、この地域に対して愛着を持っている」(0.60)、「③⑧私は、同じ地域に住む人たちを信頼している」(0.54)となっています。
- 平均点が低かったのは「③⑤私は、地域の間人が自分をどう思っているかが気になる」で-0.52、次いで「③④私は、見知らぬ他者であっても信頼する」(-0.49)、「③⑦私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」(-0.27)となっています。

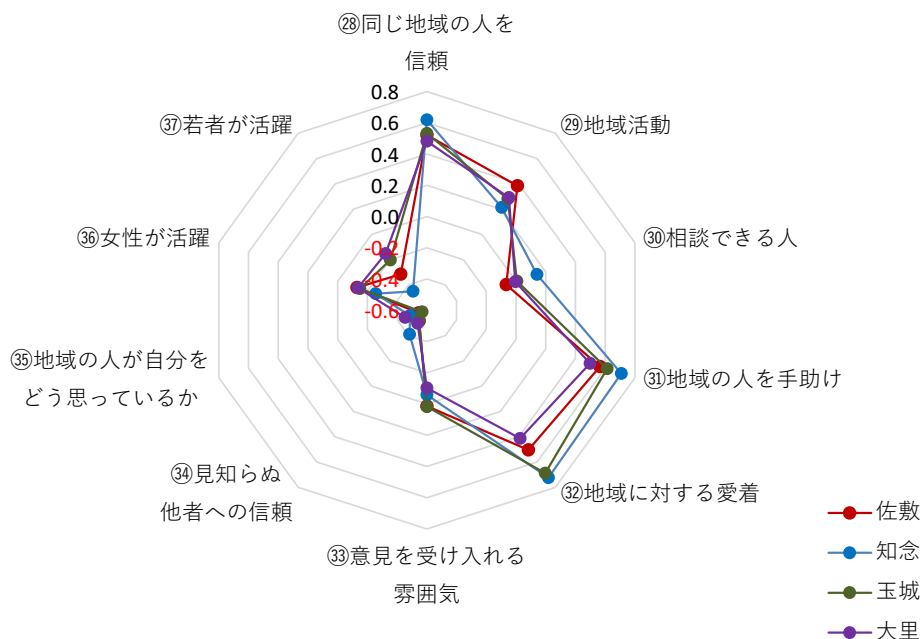
【地域の間人間関係】



順位	指標	平均点
1位	③①地域の間人を手助け	0.60
2位	③②地域に対して愛着	0.60
3位	③⑧同じ地域の間人を信頼	0.54
4位	③⑨地域活動	0.29
5位	③⑩相談できる人	0.02
6位	③③意見を受け入れる雰囲気	-0.02
7位	③⑥女性が活躍	-0.16
8位	③⑦若者が活躍	-0.27
9位	③④見知らぬ他者への信頼	-0.49
10位	③⑤地域の間人が自分をどう思っているか	-0.52

- 地域別にみると次のとおりで、0.5以上の大きさは見られませんでした。

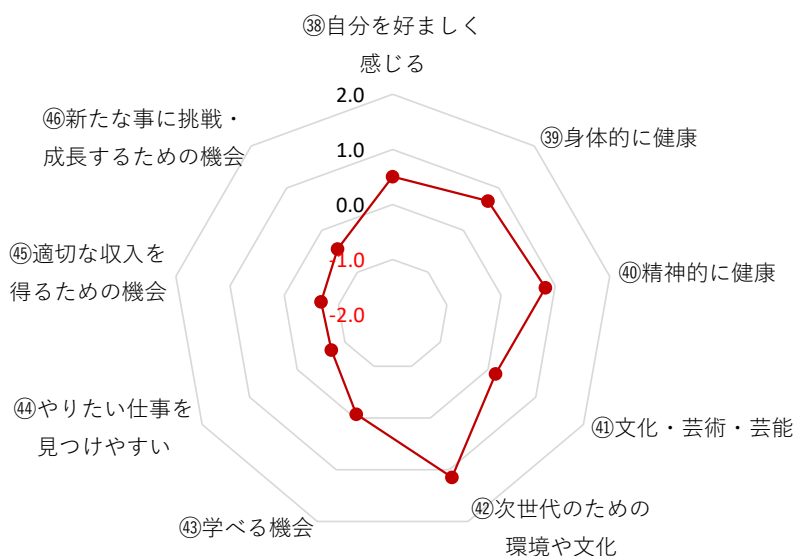
【地域別×地域の人間関係】



6) 自分らしい生き方について

- 自分らしい生き方について平均点が最も高かったのは「④②将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい」で1.15、次いで「④①私は、精神的に健康な状態である」(0.82)、「③⑨私は、身体的に健康な状態である」(0.69)となっています。
- 平均点が低かったのは「④④私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」で-0.71、次いで「④⑤私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」(-0.68)、「④⑥暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある」(-0.45)となっています。

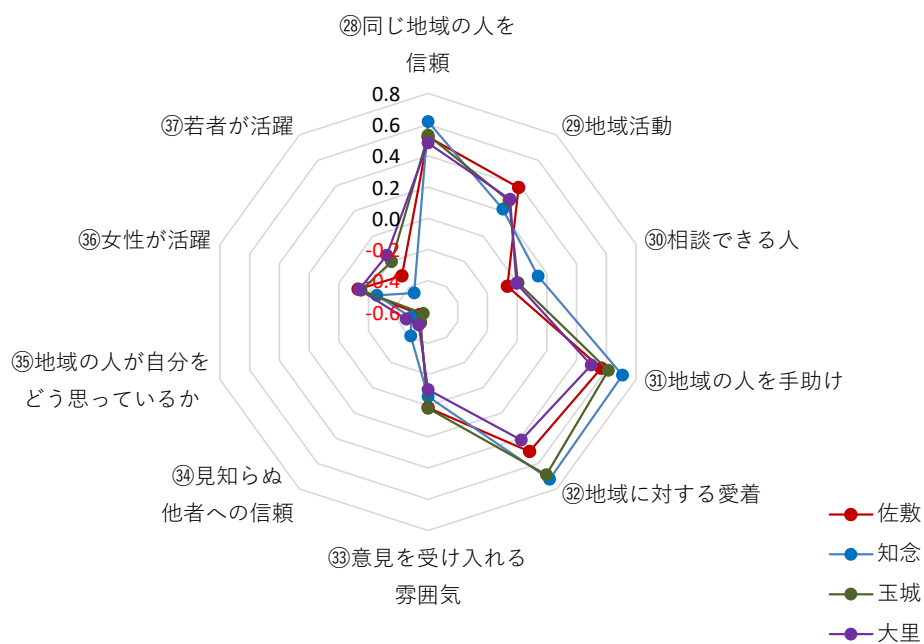
【自分らしい生き方】



順位	指標	平均点
1位	④2次世代のための環境や文化	1.15
2位	④0精神的に健康	0.82
3位	③9身体的に健康	0.69
4位	③8自分を好ましく感じる	0.51
5位	④1文化・芸術・芸能	0.16
6位	④3学べる機会	-0.07
7位	④6新たな事に挑戦・成長するための機会	-0.45
8位	④5適切な収入を得るための機会	-0.68
9位	④4やりたい仕事を見つけやすい	-0.71

- 地域別にみると次のとおりで、0.5以上の大きさは見られませんでした。

【地域別×自分らしい生き方】

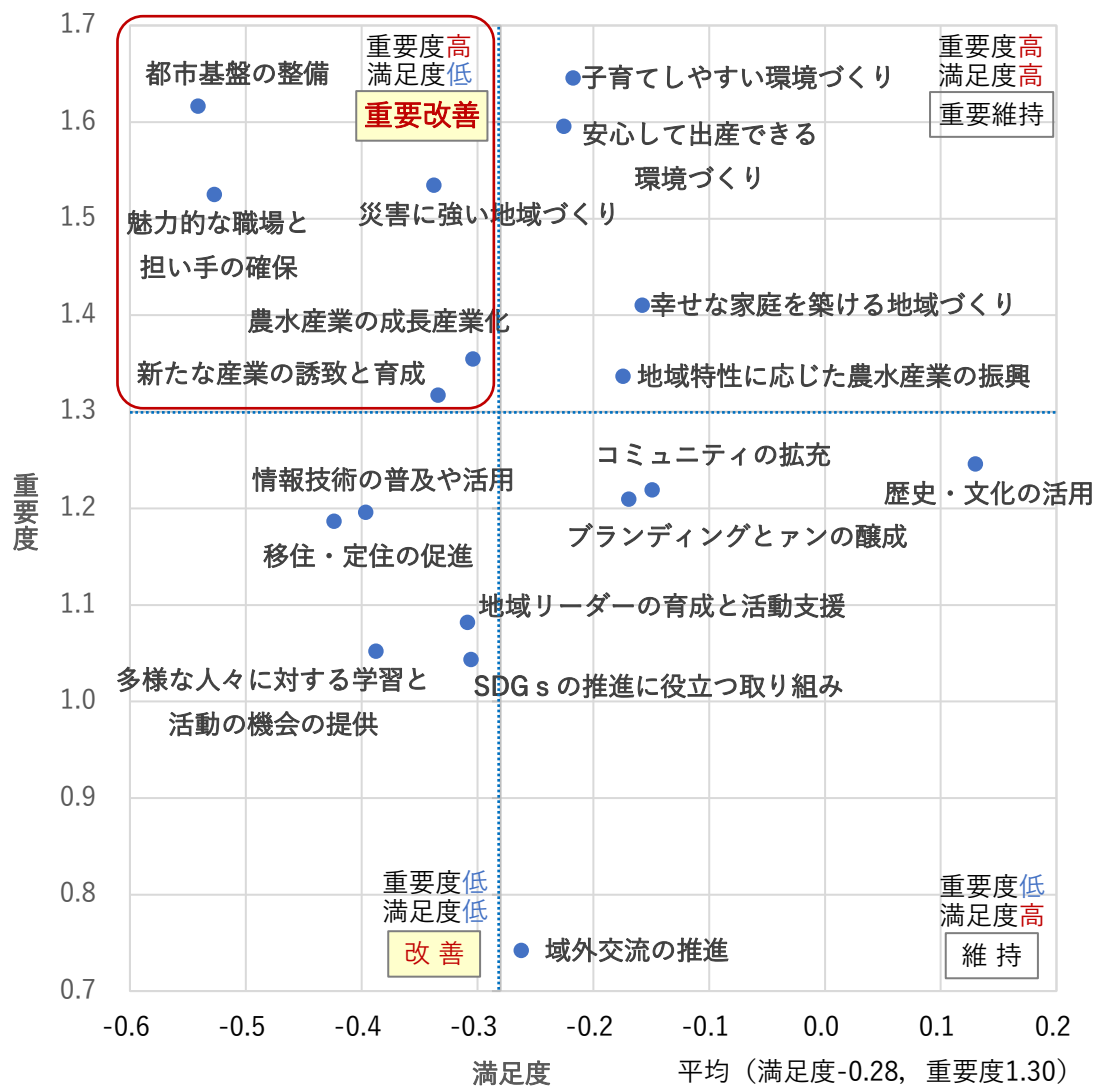


7) 南城市のまちづくりについて

① 第2期戦略の施策に対する満足度と今後の重要度

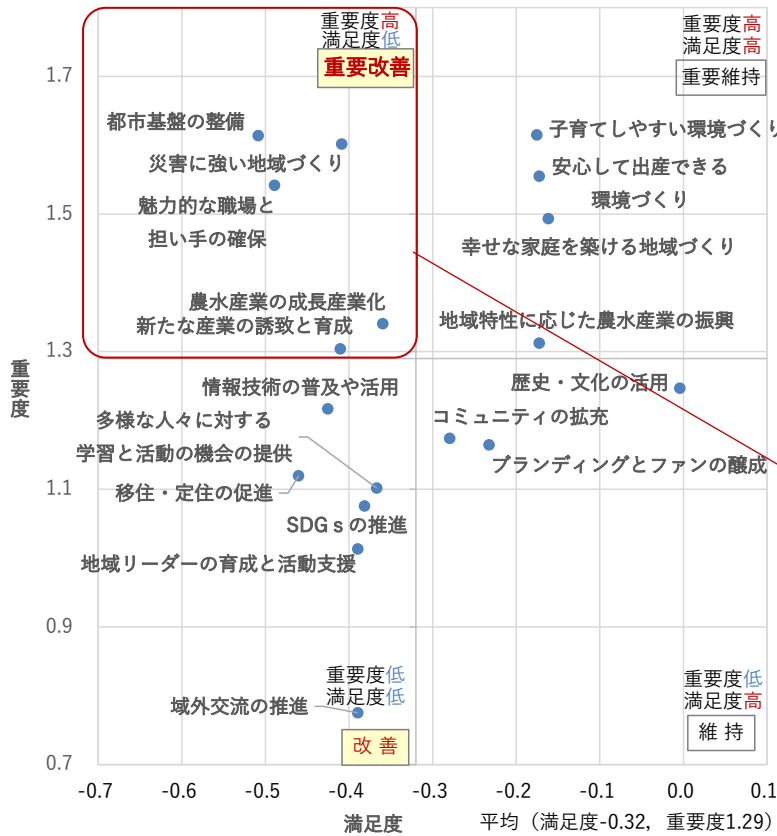
- 南城市が取り組むまちづくりの施策に対する満足度と重要度について、散布図で見える化したところ、満足度が低く重要度が高いのは「都市基盤の整備」、「魅力的な職場と担い手の確保」、「災害に強い地域づくり」、「農水産業の成長産業化」、「新たな産業の誘致と育成」となっています。

【施策の満足度・重要度】



【地域別×施策の満足度・重要度】

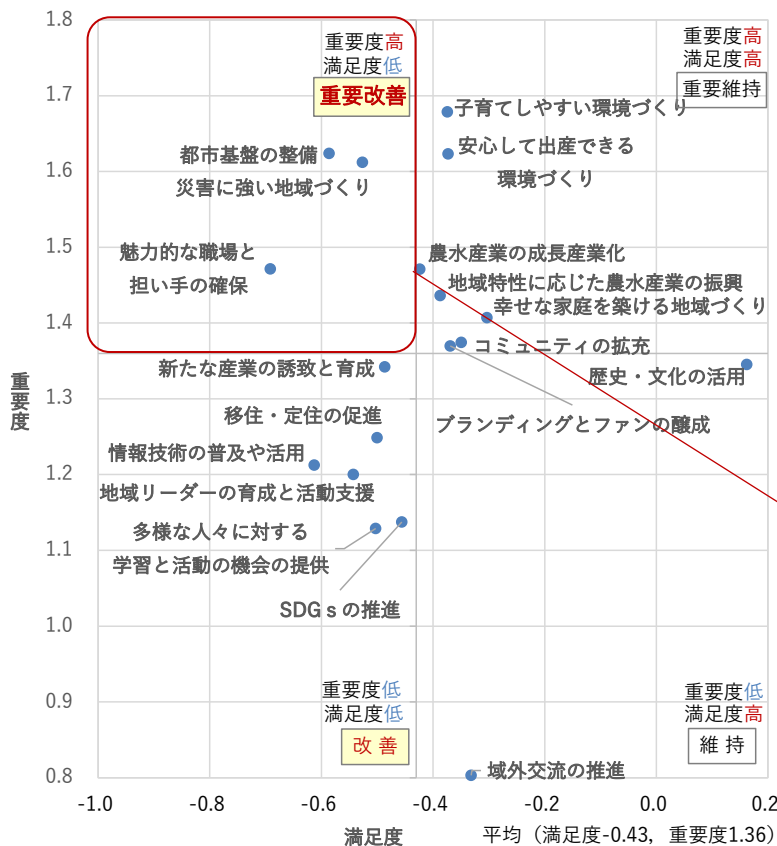
① 佐敷



満足度が低く重要度が高い

- ・都市基盤の整備
- ・災害に強い地域づくり
- ・農水産業の成長産業化
- ・魅力的な職場と担い手の確保

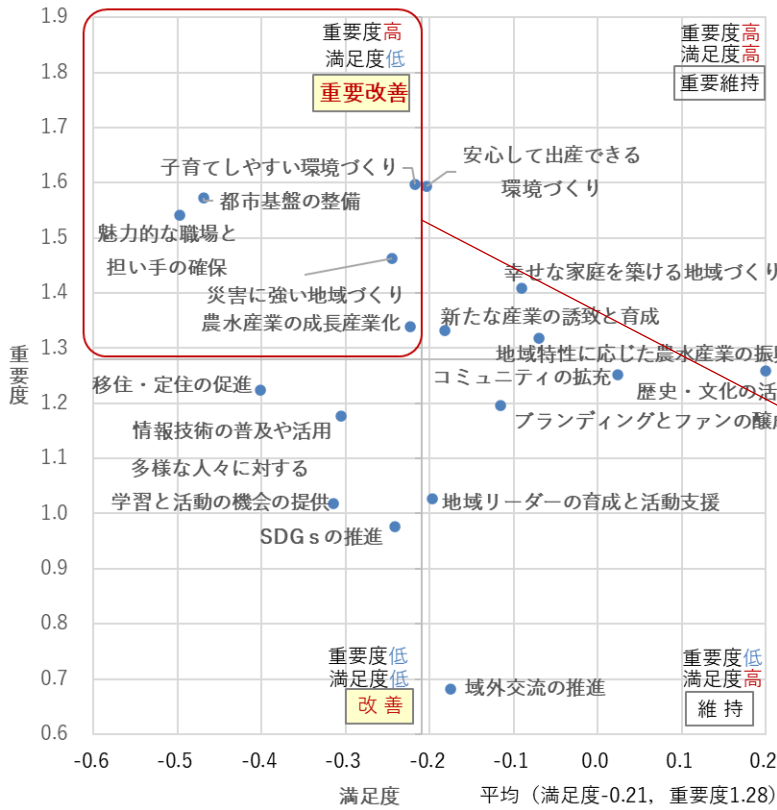
② 知念



満足度が低く重要度が高い

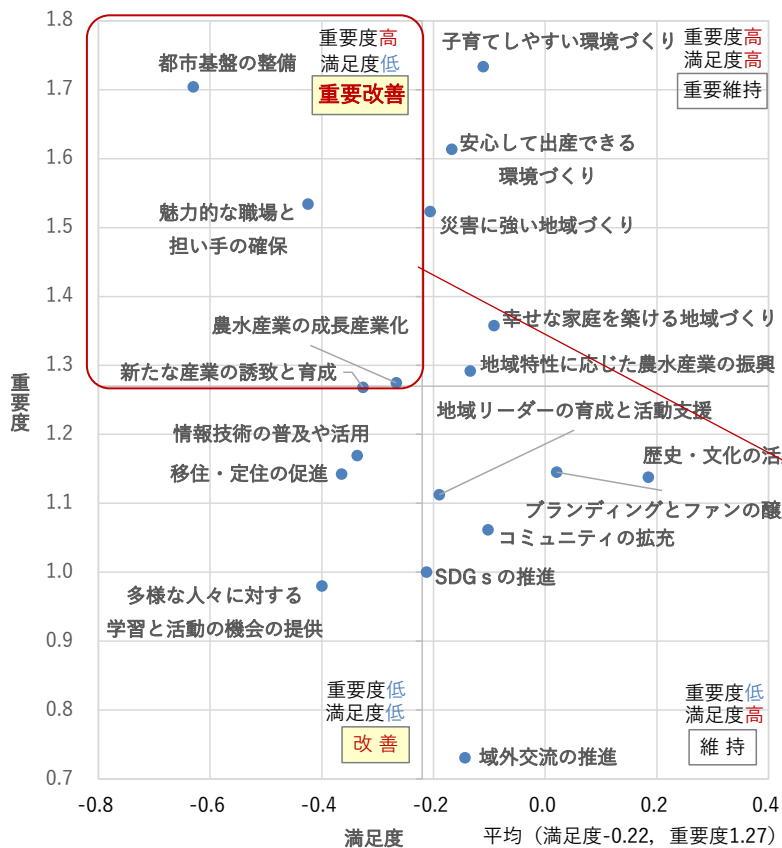
- ・都市基盤の整備
- ・災害に強い地域づくり
- ・魅力的な職場と担い手の確保

③ 玉城



- 満足度が低く重要度が高い
- ・子育てしやすい環境づくり
 - ・都市基盤の整備
 - ・魅力的な職場と担い手の確保
 - ・災害に強い地域づくり
 - ・農水産業の成長産業化

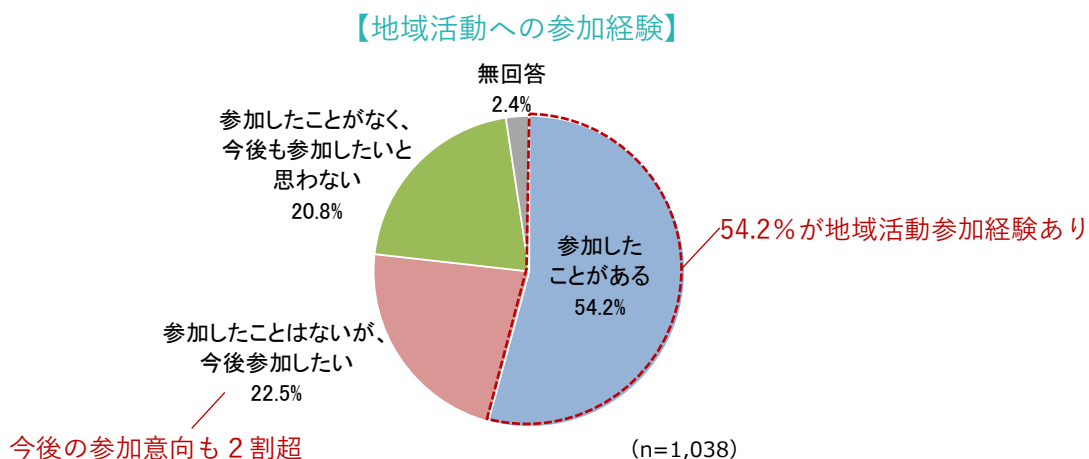
④ 大里



- 満足度が低く重要度が高い
- ・都市基盤の整備
 - ・魅力的な職場と担い手の確保
 - ・農水産業の成長産業化
 - ・新たな産業の誘致と育成

② 地域活動への参加

- 地域活動への参加経験について、「参加したことがある」が54.2%で最も多く5割超であった。次いで「参加したことはないが、今後参加したい」(22.5%)、「参加したことがなく、今後参加したいと思わない」(20.8%)となっています。



- 地域別にみると、全ての地域で「参加したことがある」が最も多いが、知念では66.2%と全体と比較して12.0pt高く、地域活動への参加経験がある方の割合が多く、大里では46.6%と、これまで参加経験がない方の割合が高いが、「今後参加したい」も3割弱みられます。

【地域別×地域活動への参加経験】

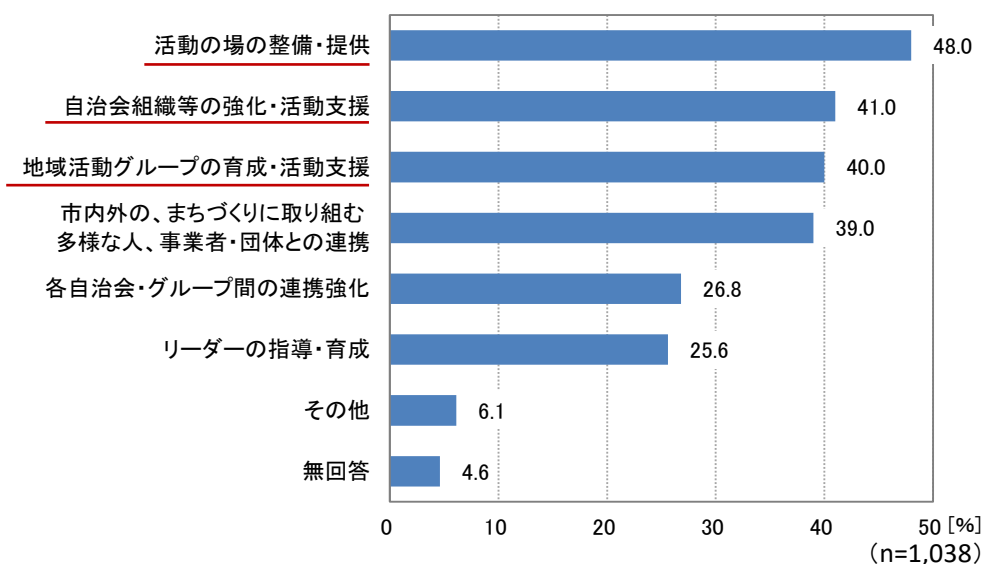
		参加したことがある	参加したことはないが、今後参加したい	参加したことがなく、今後参加したいと思わない	無回答
地域別	佐敷(n=241)	128 53.1	51 21.2	57 23.7	5 2.1
	知念(n=207)	137 66.2	34 16.4	32 15.5	4 1.9
	玉城(n=359)	183 51.0	91 25.3	74 20.6	11 3.1
	大里(n=206)	96 46.6	56 27.2	51 24.8	3 1.5

知念では地域活動に参加経験がある方が6割半ばと多く、大里では、これまで参加経験がない方が多いが、「今後参加したい」が3割弱みられる。

③ 住民主体のまちづくりのために市が取り組むべきこと

- 住民主体のまちづくりのために取り組むべきことについて、「活動の場の整備・提供」が48.0%で最も多く、次いで「自治会組織等の強化・活動支援」(41.0%)、「地域活動グループの育成・活動支援」(40.0%)等の順となっています。

【住民主体のまちづくりのために取り組むべきこと（複数回答）】



- 地域別にみると、全ての地域で「活動の場の整備・提供」が最も多いが、知念では「リーダーの指導・育成」と「地域活動グループの育成・活動支援」が他地域と比較して高く、大里では「市内外の、まちづくりに取り組む多様な人、事業者・団体との連携」が高くなっています。

【地域別×住民主体のまちづくりのために取り組むべきこと】

		自治会組織等の強化・活動支援	活動の場の整備・提供	リーダーの指導・育成	地域活動グループの育成・活動支援	各自治会・グループ間の連携強化	市内外の、まちづくりに取り組む多様な人、事業者・団体との連携	その他	無回答
地域別	佐敷(n=241)	107 44.4	109 45.2	47 19.5	85 35.3	64 26.6	94 39.0	14 5.8	9 3.7
	知念(n=207)	88 42.5	109 52.7	68 32.9	97 46.9	61 29.5	76 36.7	11 5.3	13 6.3
	玉城(n=359)	142 39.6	173 48.2	88 24.5	146 40.7	92 25.6	133 37.0	25 7.0	15 4.2
	大里(n=206)	78 37.9	94 45.6	55 26.7	80 38.8	56 27.2	91 44.2	12 5.8	9 4.4

地域を問わず「活動の場の整備・提供」が求められているが、知念では「リーダーの指導・育成」と「地域活動グループ」、大里では「連携」も高くなっている。

④ 将来を考えたときに不安に感じること

- 将来を考えたときに不安に感じることについて「高齢者の増加、若者の減少」が51.9%で最も多く、次いで「病院・介護施設等の不足」(25.5%)、「公共交通機関の撤退(路線の廃止等)」(20.9%)等の順となっています。

【将来を考えたときに不安に感じること(複数回答)】



- 地域別にみると、全ての地域で「高齢者の増加、若者の減少」が最も多くなっています。
- 佐敷では「自身の収入の減少」(22.4%、が全体と比較して+4.8p)、知念では「商店の減少(買い物等の不便さ)」(24.2%、全体と比較して+6.1pt)、大里では「子育て環境」(25.2%、全体と比較して+8.6pt) の割合がそれぞれ高くなっています。

【地域別×将来を考えたときに不安に感じること】

		高齢者の増加、若者の減少	商店の減少(買い物等の不便さ)	公共交通機関の撤退(路線の廃止等)	病院・介護施設等の不足	空き家・空き店舗の増加	耕作放棄地の増加	住民同士の関係の希薄化	治安の悪化
地域別	佐敷(n=241)	111 46.1	44 18.3	51 21.2	57 23.7	24 10.0	13 5.4	14 5.8	21 8.7
	知念(n=207)	106 51.2	50 24.2	45 21.7	58 28.0	23 11.1	15 7.2	17 8.2	19 9.2
	玉城(n=359)	196 54.6	77 21.4	85 23.7	87 24.2	32 8.9	35 9.7	22 6.1	35 9.7
	大里(n=206)	112 54.4	15 7.3	33 16.0	60 29.1	14 6.8	16 7.8	17 8.3	14 6.8
		気候変動等の環境変化	災害(地震等)の発生	教育や学習の機会等の減少	高校の不在(通学の負担、子どもの転出)	文化・芸術等に触れる機会の減少	公共施設の老朽化・閉鎖	市の財政悪化(公的サービスの縮小)	道路等生活基盤の整備の遅れ
地域別	佐敷(n=241)	29 12.0	37 15.4	13 5.4	13 5.4	11 4.6	16 6.6	30 12.4	14 5.8
	知念(n=207)	20 9.7	24 11.6	8 3.9	8 3.9	6 2.9	14 6.8	27 13.0	14 6.8
	玉城(n=359)	35 9.7	26 7.2	16 4.5	15 4.2	21 5.8	20 5.6	51 14.2	25 7.0
	大里(n=206)	34 16.5	19 9.2	12 5.8	8 3.9	6 2.9	12 5.8	31 15.0	21 10.2
		子育て環境	家族の介護	自分を支えてくれる家族等の不在	自身の収入の減少	自身の健康状態	その他	特に不安に感じることはない	無回答
地域別	佐敷(n=241)	42 17.4	40 16.6	6 2.5	54 22.4	43 17.8	1 0.4	3 1.2	5 2.1
	知念(n=207)	26 12.6	35 16.9	5 2.4	21 10.1	34 16.4	1 0.5	4 1.9	5 2.4
	玉城(n=359)	49 13.6	48 13.4	23 6.4	64 17.8	55 15.3	11 3.1	6 1.7	8 2.2
	大里(n=206)	52 25.2	33 16.0	14 6.8	37 18.0	37 18.0	2 1.0	2 1.0	4 1.9

【キーワード 出現回数上位】

順位	品詞	単語	出現回数
1位	名詞	自然	223
2位	名詞	健康	93
3位	名詞	快適	72
4位	名詞	笑顔	59
5位	動詞	癒す	45
6位	名詞	子育て	37
7位	名詞	生きがい	35
8位	名詞	安心	32
9位	名詞	環境	30
10位	名詞	活力	28
11位	名詞	夢	27
12位	名詞	豊か	26
13位	名詞	地域	25
14位	名詞	街	23
15位	名詞	安全	21
16位	名詞	南城市	17
16位	名詞	生活	17
18位	名詞	文化	16
18位	名詞	便利	16
20位	名詞	調和	14
20位	名詞	整備	14
20位	名詞	まち	14
20位	名詞	充実	14

【キーワード 共起回数上位】

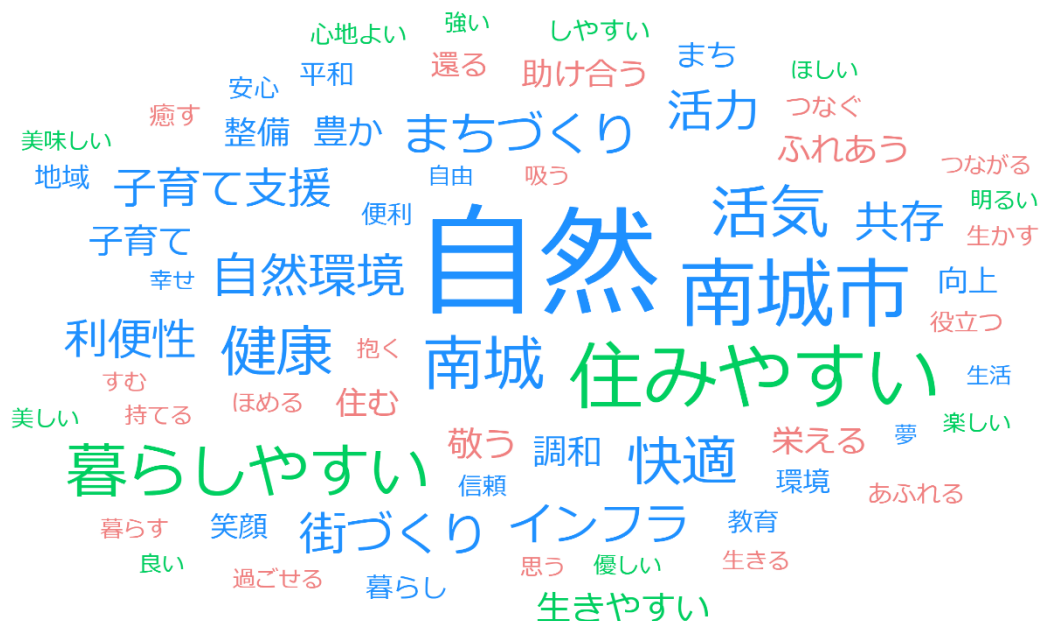
順位	単語1	単語2	共起回数
1位	夢	生きがい	22
2位	健康	自然	19
2位	癒す	自然	19
4位	健康	笑顔	16
5位	子育て	自然	14
5位	自然	豊か	14
5位	安全	安心	14
8位	文化	自然	13
9位	健康	癒す	12
10位	笑顔	自然	10
10位	自然	調和	10
10位	健康	快適	10
10位	健康	生きがい	10
14位	快適	自然	9
15位	環境	自然	8
15位	活用	自然	8
17位	安心	自然	7
17位	歴史	自然	7
17位	快適	生活	7
17位	健康	夢	7

【キーワード 係り受け解析上位】

順位	キーワード	スコア	出現頻度	順位	キーワード	スコア	出現頻度
1位	夢-生きがい	14.06	22.00	14位	自然-活用	2.00	4.00
2位	自然-調和	6.00	9.00	14位	快適-老後	2.00	2.00
3位	自然-癒す	5.22	15.00	14位	心-からだ	2.00	2.00
4位	笑顔-あふれる	3.33	4.00	14位	イベント-開催	2.00	2.00
5位	自然-生かす	3.00	3.00	14位	がん-学習	2.00	2.00
5位	地域-見守る	3.00	2.00	22位	自然-文化	1.76	5.00
5位	がん-機関	3.00	2.00	23位	自然-生きる	1.71	3.00
5位	がん-農産物	3.00	2.00	23位	健康-暮らす	1.71	3.00
5位	がん-特産品	3.00	2.00	23位	自然-共生	1.71	3.00
5位	がん-パワースポット	3.00	2.00	26位	自然-豊か	1.56	6.00
5位	自立-経済的	3.00	2.00	27位	自然-心地よい	1.50	2.00
12位	自然-共存	2.86	4.00	28位	安心-暮らせる	1.20	3.00
13位	健康-生きがい	2.50	9.00	28位	地域-つながり	1.20	3.00
14位	自然-守る	2.00	3.00	28位	自然-バランス	1.20	2.00
14位	自然-残す	2.00	2.00	28位	自立-自立	1.20	2.00
14位	自然-歴史	2.00	4.00	32位	快適-生活	1.11	4.00

南城市が目指していく将来像のキーワード－①佐敷

【南城市が目指していく将来像のキーワード ワードクラウド】

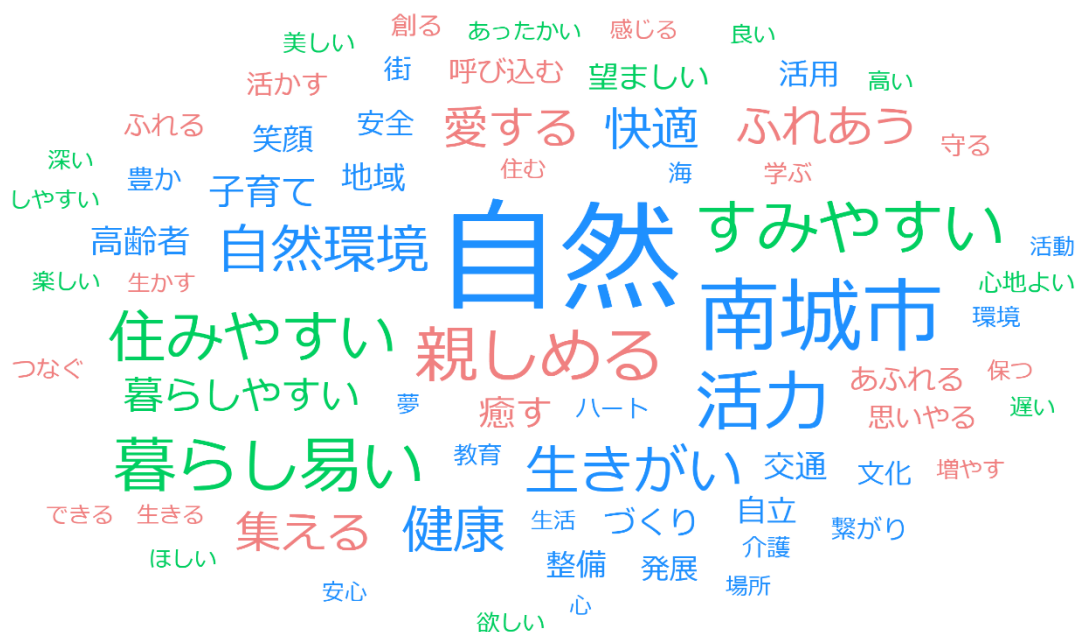


【キーワード 係り受け解析上位】

順位	キーワード	スコア	出現頻度	順位	キーワード	スコア	出現頻度
1位	自然-共存	4.00	4.00	4位	夢-持てる	1.00	1.00
2位	夢-生きがい	2.00	2.00	4位	自然災害-吸う	1.00	1.00
3位	快適-生活	1.50	2.00	4位	空気-吸う	1.00	1.00
4位	自然-心地よい	1.00	1.00	4位	老若男女-できる	1.00	1.00
4位	流れ-ほしい	1.00	1.00	4位	環境-行う	1.00	1.00
4位	自然-癒す	1.00	2.00	4位	世界-役立つ	1.00	1.00
4位	健康-暮らす	1.00	1.00	4位	バス-走る	1.00	1.00
4位	健康-いく	1.00	1.00	4位	バス-くれる	1.00	1.00
4位	健康-持てる	1.00	1.00	4位	部落-走る	1.00	1.00
4位	自然-生かす	1.00	1.00	4位	部落-くれる	1.00	1.00
4位	整備-行う	1.00	1.00	4位	効率的-動く	1.00	1.00
4位	時代-流す	1.00	1.00	4位	スムーズ-動く	1.00	1.00
4位	未来-つなぐ	1.00	1.00	4位	流れ-作る	1.00	1.00
4位	いのち-つながる	1.00	1.00	4位	家族-見る	1.00	1.00
4位	共存-できる	1.00	1.00	4位	健康-交流	1.00	1.00
4位	笑顔-あふれる	1.00	1.00	4位	自然-老若男女	1.00	1.00

南城市が目指していく将来像のキーワード-②知念

【南城市が目指していく将来像のキーワード ワードクラウド】



【キーワード 係り受け解析上位】

順位	キーワード	スコア	出現頻度	順位	キーワード	スコア	出現頻度
1位	自然-癒す	3.50	6.00	11位	自然-生かす	1.00	1.00
2位	自立-経済的	3.00	2.00	11位	自然-残す	1.00	1.00
3位	健康-生きがい	2.22	4.00	11位	活動-行う	1.00	1.00
3位	夢-生きがい	2.22	4.00	11位	活用-つなぐ	1.00	1.00
5位	笑顔-あふれる	2.00	2.00	11位	充実-ふれる	1.00	1.00
5位	自然-利便性	2.00	2.00	11位	人情-暮らす	1.00	1.00
5位	心-からだ	2.00	2.00	11位	人材-つなぐ	1.00	1.00
8位	自然-生きる	1.50	2.00	11位	暮らし-創る	1.00	1.00
8位	自立-自立	1.50	2.00	11位	暮らし-いく	1.00	1.00
10位	自然-守る	1.20	2.00	11位	心-保つ	1.00	1.00
11位	心-深い	1.00	1.00	11位	観光客-呼び込む	1.00	1.00
11位	全世代-暮らしやすい	1.00	1.00	11位	サークル-集える	1.00	1.00
11位	参加-高い	1.00	1.00	11位	沖縄-広がる	1.00	1.00
11位	受講-高い	1.00	1.00	11位	地の利-合う	1.00	1.00
11位	自然-ゆる	1.00	1.00	11位	接種-はじまる	1.00	1.00
11位	自然-暮らす	1.00	1.00	11位	開始-はじまる	1.00	1.00

【自由意見 出現回数上位】

順位	品詞	単語	出現回数
1位	形容詞	ほしい	140
2位	動詞	思う	112
3位	形容詞	欲しい	98
4位	名詞	南城市	83
5位	動詞	増やす	59
5位	動詞	できる	59
7位	名詞	地域	49
8位	名詞	整備	48
9位	名詞	バス	47
10位	名詞	充実	46
11位	形容詞	多い	44
12位	名詞	自然	38
13位	形容詞	良い	34
14位	名詞	道路	31
15位	名詞	市民	30
15位	名詞	子育て	30
15位	名詞	環境	30
15位	動詞	住む	30
19位	名詞	歩道	27
19位	動詞	感じる	27
19位	形容詞	いい	27

【自由意見 共起回数上位】

順位	単語1	単語2	共起回数
1位	ほしい	増やす	27
2位	増やす	欲しい	24
3位	バス	増やす	21
4位	南城市	思う	20
5位	住む	思う	17
5位	できる	思う	17
5位	n	バス	17
8位	ほしい	バス	16
9位	バス	行く	15
9位	いい	思う	15
9位	整備	歩道	15
12位	バス	欲しい	14
12位	整備	道路	14
14位	増える	思う	13
14位	ほしい	取り組む	13
16位	必要	思う	12
16位	できる	市民	12
16位	思う	良い	12
16位	ほしい	地域	12
16位	ほしい	思う	12
16位	行う	資産	12
16位	有効活用	資産	12

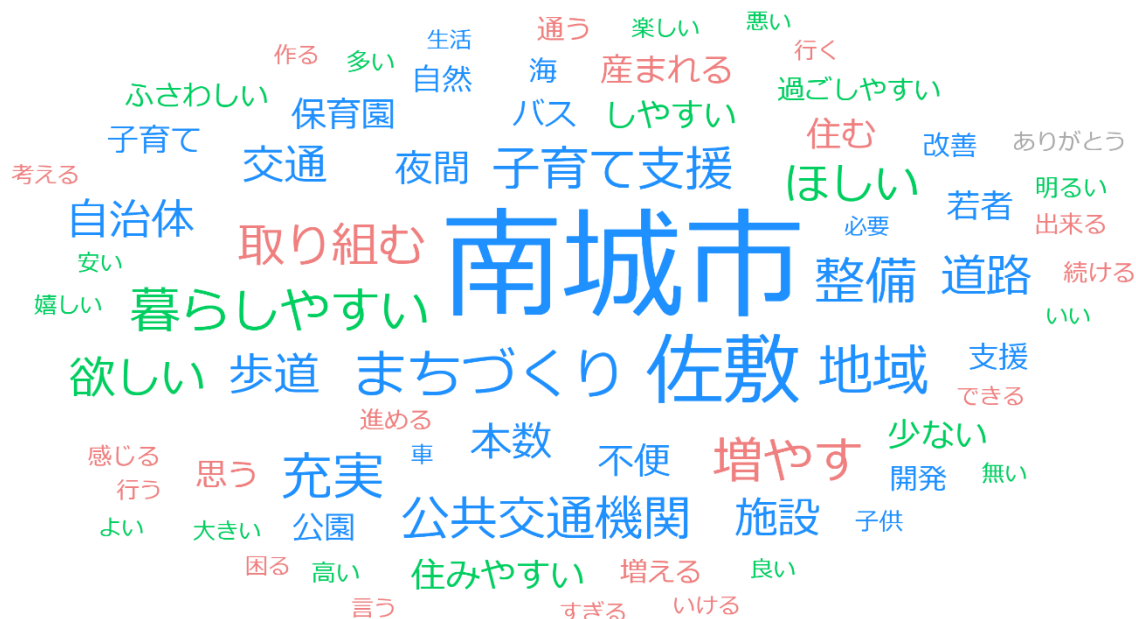
【自由意見 係り受け解析 上位】

順位	自由意見	スコア	出現頻度
1位	南部東道路-開通	3.33	4.00
2位	自然-生かす	3.00	3.00
2位	地区-通ずる	3.00	2.00
2位	ポー-市道	3.00	2.00
2位	ルール-遵守	3.00	2.00
6位	バス-本数	2.50	4.00
7位	歩道-歩ける	2.40	3.00
7位	市町村-比べる	2.40	3.00
9位	歩道-整備	2.24	10.00
10位	地域-見守る	2.00	2.00
10位	まちづくり-携わる	2.00	2.00
10位	自然-壊す	2.00	2.00
10位	耳-傾ける	2.00	2.00
10位	地域-放送	2.00	2.00
10位	市立-開館	2.00	2.00
10位	図書館-開館	2.00	2.00
19位	自然-守る	1.82	4.00

順位	自由意見	スコア	出現頻度
20位	バス-通る	1.71	3.00
20位	安心-暮らせる	1.71	3.00
22位	環境-整える	1.50	2.00
22位	まちづくり-目指す	1.50	2.00
22位	施設-建てる	1.50	2.00
22位	雑草-生える	1.50	2.00
22位	バス-運行	1.50	2.00
22位	歩道-草木	1.50	2.00
22位	南風原-与那原	1.50	2.00
22位	結婚-出産	1.50	2.00
30位	自然-残す	1.33	3.00
31位	水はけ-悪い	1.20	3.00
31位	声-聞く	1.20	2.00
31位	ポー-歩ける	1.20	2.00
31位	人権-学ぶ	1.20	2.00
35位	コストコ-渋滞	1.09	3.00

まちづくりに関する自由意見－①佐敷

【自由意見 ワードクラウド】



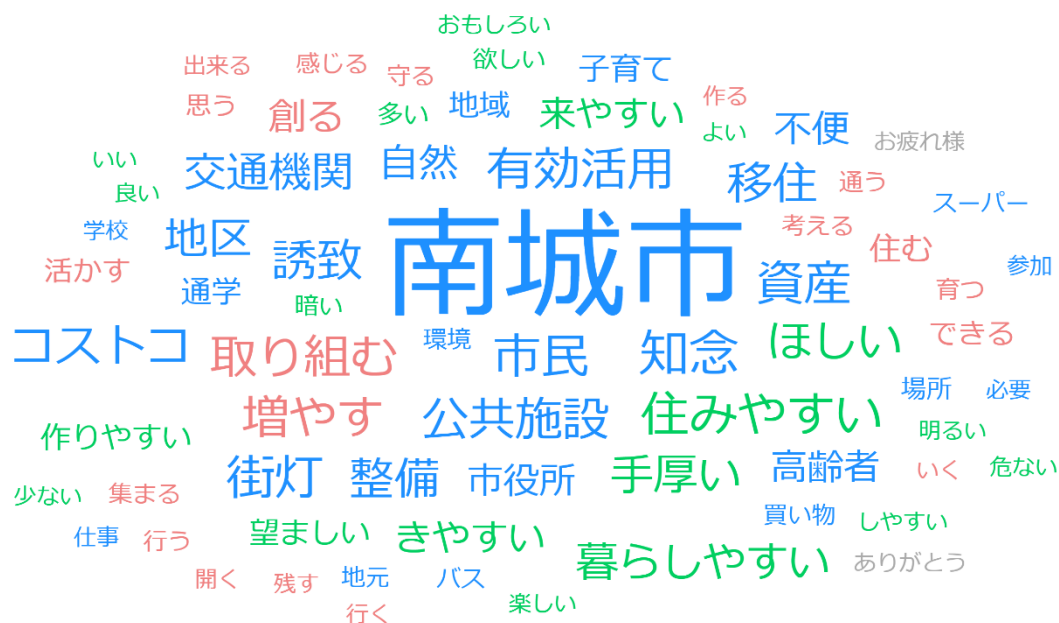
【自由意見 係り受け解析 上位】

順位	キーワード	スコア	出現頻度	順位	キーワード	スコア	出現頻度
1位	市町村-比べる	2.00	2.00	6位	シンボル-ふさわしい	1.00	1.00
1位	地域-放送	2.00	2.00	6位	バス-乗る	1.00	1.00
3位	バス-運行	1.50	2.00	6位	バス-通す	1.00	1.00
4位	本数-少ない	1.20	3.00	6位	佐敷-移る	1.00	1.00
4位	バス-本数	1.20	2.00	6位	整備-整う	1.00	1.00
6位	整備-ありがたい	1.00	1.00	6位	工事-くださる	1.00	1.00
6位	病院-遠い	1.00	1.00	6位	車-持つ (否: 100.00%)	1.00	1 (否: 1)
6位	移動-しにくい	1.00	1.00	6位	発展-うるおう	1.00	1.00
6位	観光客-優しい	1.00	1.00	6位	充実-足る	1.00	1.00
6位	繋がり-強い	1.00	1.00	6位	充実-持つ (否: 100.00%)	1.00	1 (否: 1)
6位	バレーボール部-難しい	1.00	1.00	6位	お産-控える	1.00	1.00
6位	立ち-難しい	1.00	1.00	6位	地域-見守る	1.00	1.00
6位	上げ-難しい	1.00	1.00	6位	夜間-繰り返す	1.00	1.00
6位	都合-難しい	1.00	1.00	6位	事故-減らす	1.00	1.00
6位	優先順位-低い	1.00	1.00	6位	事件-減らす	1.00	1.00
6位	家族-住みやすい	1.00	1.00	6位	市民-関わる	1.00	1.00

※ (否: 100.00%) は「車を持ってない」など否定的な意味で回答されていることを示す。

まちづくりに関する自由意見－②知念

【自由意見 ワードクラウド】

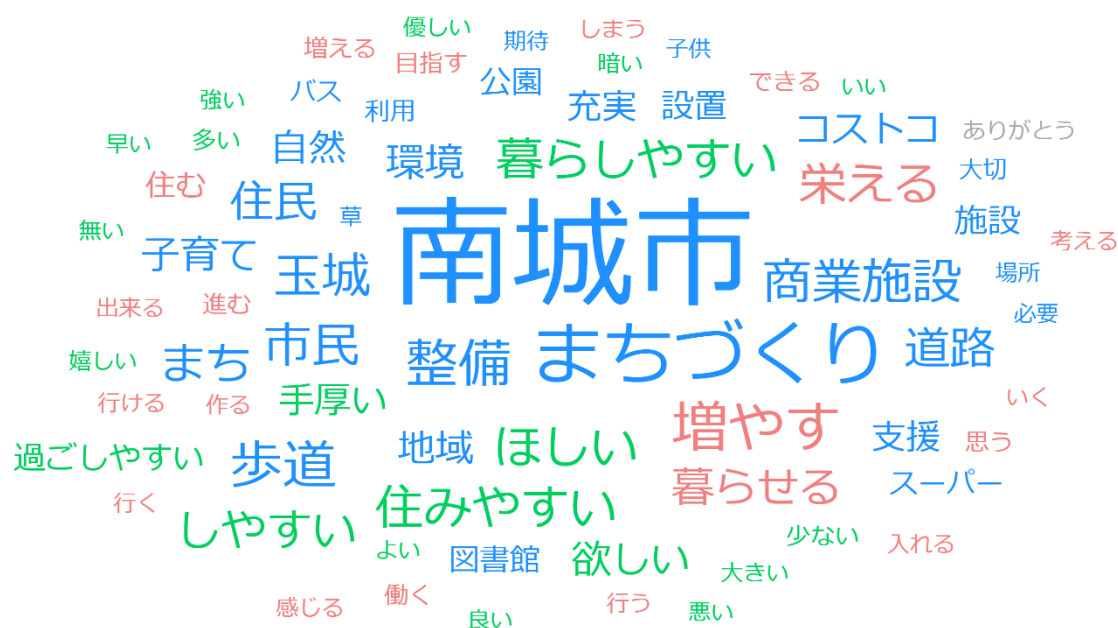


【自由意見 係り受け解析 上位】

順位	キーワード	スコア	出現頻度	順位	キーワード	スコア	出現頻度
1位	地区-通ずる	3.00	2.00	11位	吉富-危ない	1.00	1.00
1位	通学-利便性	3.00	2.00	11位	夜間-危ない	1.00	1.00
3位	コストコ-渋滞	2.00	2.00	11位	介護-無い	1.00	1.00
3位	南部東道路-開通	2.00	2.00	11位	往復-望ましい	1.00	1.00
3位	魅力-発信	2.00	2.00	11位	関連-無い	1.00	1.00
3位	まちづくり-中心	2.00	2.00	11位	発展-いく	1.00	2.00
7位	自然-守る	1.50	2.00	11位	早期-取り組む	1.00	2.00
7位	通学-向上	1.50	2.00	11位	実現-取り組む	1.00	2.00
9位	子育て-支援	1.20	2.00	11位	市民-寄り添う	1.00	1.00
9位	企業-誘致	1.20	2.00	11位	参加-ぬる	1.00	1.00
11位	南城市-暮らしやすい	1.00	1.00	11位	環境-整える	1.00	1.00
11位	若い世代-きやすい	1.00	1.00	11位	南城市-始める	1.00	1.00
11位	若者-しやすい	1.00	1.00	11位	南城市-支える	1.00	1.00
11位	ポテンシャル-高い	1.00	1.00	11位	自然-生かす	1.00	1.00
11位	市外-来やすい	1.00	1.00	11位	子供-学ぶ	1.00	1.00
11位	地区-危ない	1.00	1.00	11位	場所-下さる	1.00	1.00

まちづくりに関する自由意見－③玉城

【自由意見 ワードクラウド】



【自由意見 係り受け解析 上位】

順位	キーワード	スコア	出現頻度	順位	キーワード	スコア	出現頻度
1位	ポー-市道	3.00	2.00	15位	病院-遠い	1.00	1.00
1位	ルール-遵守	3.00	2.00	15位	皆んな-楽しい	1.00	1.00
3位	草-生える	2.00	2.00	15位	不安-軽い	1.00	1.00
3位	南部東道路-開通	2.00	2.00	15位	駐車場-高い	1.00	1.00
6位	水はけ-悪い	1.50	2.00	15位	満車-高い	1.00	1.00
6位	安心-暮らせる	1.50	2.00	15位	料金-高い	1.00	1.00
6位	大切-守る	1.50	2.00	15位	船越-行きづらい	1.00	1.00
6位	人権-学ぶ	1.50	2.00	15位	八重-面倒くさい	1.00	1.00
6位	結婚-出産	1.50	2.00	15位	瀬-面倒くさい	1.00	1.00
11位	一日-早い	1.20	2.00	15位	工事-遅い	1.00	1.00
11位	まちづくり-目指す	1.20	2.00	15位	設備-新しい	1.00	1.00
13位	歩道-整備	1.11	4.00	15位	アンケート-難しい	1.00	1.00
14位	ハート-まち	1.09	3.00	15位	老後-生きやすい	1.00	1.00
15位	市外-しにくい	1.00	1.00	15位	コストコ-出来る	1.00	2.00
15位	児童館-行きづらい	1.00	1.00	15位	自然-保てる	1.00	1.00
15位	図書館-行きづらい	1.00	1.00	15位	自然-生かす	1.00	1.00

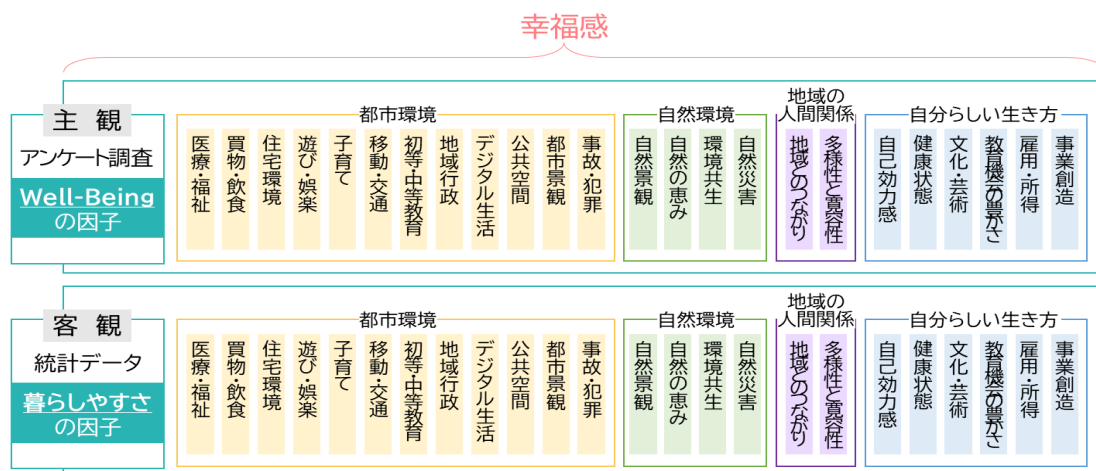
II 南城市の Well-Being 指標について

1. 地域幸福度 Well-Being 指標とは

(1) Well-Being 指標とは

国が進めているデジタル田園都市国家構想では、「心豊かな暮らし」（Well-Being）と「持続可能な環境・社会・経済」（Sustainability）の実現に向け、地域幸福度（Well-Being）指標の活用を推奨しています。

Well-Being 指標は、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感(Well-Being)」を数値化・可視化したもので、住民アンケートによる主観指標と、統計データによる客観指標で構成されます。この数値化によって 24 分野を、主観と客観両面で総合的に判断することができ、これまでの定量的な指標・KPI だけでなく、市民目線での暮らしやすさや幸福感の向上を目的とした施策を検討する際の指標となります。



(資料) デジタル庁「地域幸福度(Well-Being)指標活用ガイドブック」2025年3月 Ver.2024-03 を参考に作成。

南城市においては、8月に実施した市民アンケート調査の中で、Well-Being 指標に関する設問も設定し、得られた回答に基づき算出しました。

【市民アンケート調査の実施概要】

目的	市民の「暮らしやすさ」や「幸福感」を把握し、第3期戦略に反映させることを目的として実施。
対象	性別・年代別・居住地域別に配慮して無作為抽出した市民 5,000 人
方法	紙の調査票を郵送配布・回収。 なお、回答者の負担を軽減し回答率を向上させるため、紙の調査票回答と、専用アンケートページを設置し、インターネットからも回答できるようにした。
期間	令和7年8月
回答数(率)	1,038人(20.8%)

(2) 主観・客観指標について

① 主観指標

主観指標（アンケート調査の設問）は、「地域における幸福度・生活満足度」、「生活環境」、「地域の人間関係」、「自分らしい生き方」の全 50 問で構成されます。

【Well-Being 主観指標】

地域における幸福度・生活満足度 (4)				
<ul style="list-style-type: none"> 現在、あなたほどの程度幸せですか？ 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれくらい幸せだと思いますか？ 		<ul style="list-style-type: none"> 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちを持っていると思う 		
生活環境 (16)				
医療・福祉 (2) <ul style="list-style-type: none"> 医療機関が充実している 介護・福祉施設のサービスが受けやすい 	子育て (2) <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援・補助が手厚い 子どもたちがいきいきと暮らせる 	都市景観 (1) <ul style="list-style-type: none"> 自慢できる都市景観がある 	地域とのつながり (5) <ul style="list-style-type: none"> 私は同じ町内に住む人たちを信頼している 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである 困ったときに相談できる人が身近にいる 町内の人が困っていたら手助けすこのまに要着を持っている 	自分らしい生き方 (6)
買物・飲食 (2) <ul style="list-style-type: none"> 日常の買い物に全く不便がない 飲食を楽しめる場所が充実している 	初等・中等教育 (2) <ul style="list-style-type: none"> 教育環境（小中高校）が整っている 通学しやすい場所に学校がある 	事故・犯罪 (2) <ul style="list-style-type: none"> 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安が良い 歩道や信号が整備されていて安心である 	多様性と寛容性 (5) <ul style="list-style-type: none"> 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある 私は見知らぬ他者であっても信頼する 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる 女性が活躍しやすい 若者が活躍しやすい 	自己効力感 (1) <ul style="list-style-type: none"> 自分のことを好ましく感じる
住宅環境 (3) <ul style="list-style-type: none"> 自宅には、心地よい居場所がある 【逆】自宅の周辺では、騒音に悩まされている 適度な費用で住居を確保できる 	地域行政 (2) <ul style="list-style-type: none"> 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている 公共施設は使い勝手良く便利である 	自然景観 (1) <ul style="list-style-type: none"> 自慢できる自然景観がある 	健康状態 (2) <ul style="list-style-type: none"> 身体的に健康な状態である 精神的に健康な状態である 	文化・芸術 (2) <ul style="list-style-type: none"> 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい
移動・交通 (1) <ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる 	デジタル生活 (2) <ul style="list-style-type: none"> 行政サービスのデジタル化が進んでいる 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい 	自然の恵み (2) <ul style="list-style-type: none"> 身近に自然を感じることができる 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる 	教育機会の豊かさ (1) <ul style="list-style-type: none"> 学びたいことを学べる機会がある 	雇用・所得 (2) <ul style="list-style-type: none"> やりたい仕事を見つけやすい 適切な収入を得るための機会がある
遊び・娯楽 (1) <ul style="list-style-type: none"> 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある 	公共空間 (2) <ul style="list-style-type: none"> 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある 	環境共生 (1) <ul style="list-style-type: none"> リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである 	事業創造 (1) <ul style="list-style-type: none"> 新たなことに挑戦・成長するための機会がある 	
		自然災害 (1) <ul style="list-style-type: none"> 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。 		

(出典) デジタル庁「地域幸福度(Well-Being)指標活用ガイドブック」2025年3月 Ver.2024-03

② 客観指標

暮らしやすさの客観指標（統計）は次のとおりです。

【暮らしやすさ客観指標】

生活環境（16）			
医療・福祉 <ul style="list-style-type: none"> 医療施設徒歩圏人口カバー率 医療施設徒歩圏平均人口密度（-） 人口あたり国民医療費（-） 人口あたり後期高齢者医療費（-） 特定健康診断受診率 福祉施設徒歩圏人口カバー率 福祉施設徒歩圏平均人口密度（-） 人口あたり児童福祉施設数 人口あたり障害者福祉施設数 人口あたり認知症サポーター・メイト・サポーター数 	遊び・娯楽 <ul style="list-style-type: none"> 人口あたりの娯楽（映画館、劇場、スポーツ施設等）の事業所数 	公共空間 <ul style="list-style-type: none"> 公園緑地徒歩圏人口カバー率 人口あたり公園の面積 歩道設置率 ウォークアブル指数 	自然の恵み <ul style="list-style-type: none"> 表層崩壊からの安全率 緑地へのアクセス度 水域へのアクセス度 オートキャンプ場の立地
買物・飲食 <ul style="list-style-type: none"> 商業施設徒歩圏人口カバー率 商業施設徒歩圏平均人口密度（-） 可住地面積あたりの飲食店数 人口あたり飲食店数 	子育て <ul style="list-style-type: none"> 保育所まで1km未満の住宅割合 可住地面積あたり幼稚園数 施設あたり幼稚園児数（-） 人口あたり待機児童数（-） 騰出総額における教育費の構成比 合計特殊出生率 	都市景観 <ul style="list-style-type: none"> 都市景観指数 	環境共生 <ul style="list-style-type: none"> NOx平均値（-） PM2.5年平均値（-） ゴミリサイクル率 人口あたり年間CO2排出量（-） 人口あたり再生エネルギー 環境政策指数
住宅環境 <ul style="list-style-type: none"> 住宅あたり延べ面積 平均価格（住宅地）（-） 専用住宅1㎡あたり家賃（-） 一戸建ての持ち家の割合 	初等・中等教育 <ul style="list-style-type: none"> 可住地面積あたり小学校数 可住地面積あたり中学校数 可住地面積あたり高等学校数 施設あたり小学生数（-） 施設あたり中学生数（-） 施設あたり高校生数（-） 	自然景観 <ul style="list-style-type: none"> 自然景観指数 	自然災害 <ul style="list-style-type: none"> 外水氾濫危険度 高潮危険度 土砂災害危険度 地震動危険度 津波危険度 ハード対策 避難・救助 要配慮者支援 防災教育 防災まちづくり 情報・デジタル防災
移動・交通 <ul style="list-style-type: none"> 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率 駅およびバス停留所平均人口密度（-） 人口あたり小型車走行キロ（-） 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合 職場までの平均通勤時間（-） 	地域行政 <ul style="list-style-type: none"> 人口あたり体育施設利用者数 人口あたり図書館帯出者数 人口あたり博物館入館者数 地域財政指数 	事故・犯罪 <ul style="list-style-type: none"> 人口あたり交通事故件数*（-） 人口あたり刑法犯認知件数*（-） 空家率（-） 	自然の恵み <ul style="list-style-type: none"> 食料生産ポテンシャル 水供給ポテンシャル 木材供給ポテンシャル 炭素吸収量 蒸発散量 地下水涵養量 土壌流出防止量 窒素除去量 リン除去量 NO2吸収量 SO2吸収量 洪水調整量
	デジタル生活 <ul style="list-style-type: none"> 自治体DX指数 デジタル政策指数 デジタル生活指数 		<small>指数を構成するKPIはP14～15を参照 *各都道府県・市区町村HP等から取得 (-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出</small>

（出典）デジタル庁「地域幸福度(Well-Being)指標利活用ガイドブック」2025年3月 Ver.2024-03

地域の人間関係（2）

地域とのつながり

- 人口あたり自殺者数（-）
- 拡大家族世帯割合
- 既婚者の割合
- 高齢単身世帯の割合（-）
- 居住期間が20年以上の人口の割合
- 祭り開催数
- 自治会・町内会加入率*
- 人口あたり政治団体等の数
- 人口あたり宗教の事業所数
- 人口あたりNPOの数
- 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数
- 関係人口創出活動指数

多様性と寛容性

- 議会における女性議員の割合
- 自治体の管理職職員における女性の割合
- 自治体職員における障害者の割合
- 人口あたり外国人人口
- 多様性政策指数

自分らしい生き方（6）

自己効力感

- 首長選挙投票率
- 市区町村議会選挙の投票率

健康状態

- 健康寿命（平均自立期間）（男性）
- 健康寿命（平均自立期間）（女性）

文化・芸術

- 芸術家・著述家等の割合
- 国宝・重要文化財（建造物）の数
- 日本遺産の数

教育機会の豊かさ

- 大卒・院卒者の割合
- 可住地面積あたり大学・短期大学の数
- 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数
- 人口あたり生涯学習講座数
- 人口あたり生涯学習講座受講者数
- 人口あたり青少年教育施設利用者数
- 人口あたり女性教育施設利用者数

雇用・所得

- 完全失業率（-）
- 若年層完全失業率（-）
- 正規雇用者比率
- 高齢者有業率
- 高卒者進路未定者率（-）
- 市区町村内で従業している者の割合
- 創業比率
- 納税者あたり課税対象所得

事業創造

- クリエイティブ産業事業所の構成比
- 新規設立法人の割合
- 従業者数あたり coworkingスペースの数
- 大学発ベンチャー企業数

（出典）デジタル庁「地域幸福度(Well-Being)指標利活用ガイドブック」2025年3月 Ver.2024-03

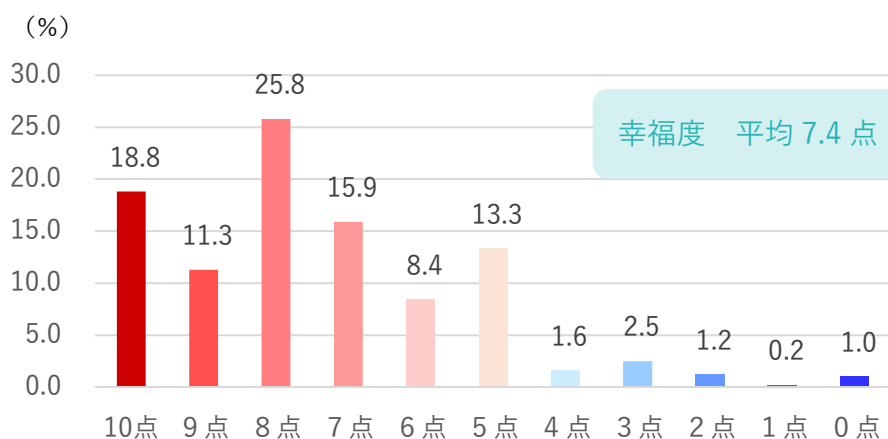
2. 南城市の地域幸福度 Well-Being 指標について

(1) 南城市の幸福度・生活満足度

① 幸福度

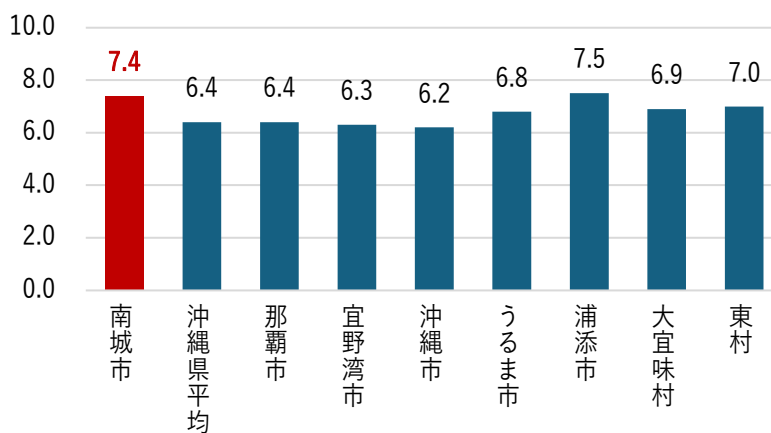
「現在、あなたはどの程度幸せですか」に0点（とても不幸）～10点（とても幸せ）で回答する幸福度について、8点が25.8%で最も多く、平均は7.4点でした。デジタル庁が公表している地域幸福度の全国調査における県平均及び県内他自治体と比較すると、県平均（6.4点）より1.0点高く、県内自治体では浦添市（7.5点）に次いで高くなっています。

【南城市 市民の幸福度】



(資料) 南城市 (令和 7 年度実施) 「市民意識調査」、デジタル庁「2025 年度版(令和 7 年度版) Well-Being 全体・個別調査」より作成。以下同様。

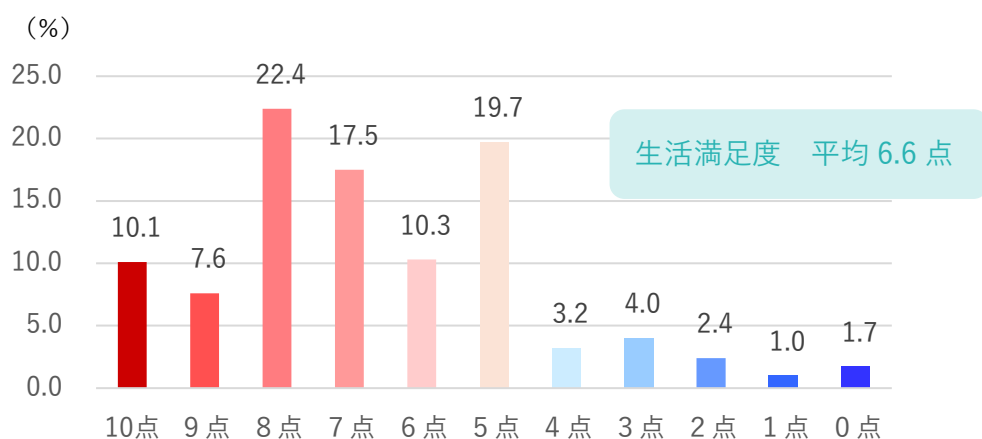
【幸福度の県平均、他自治体との比較】



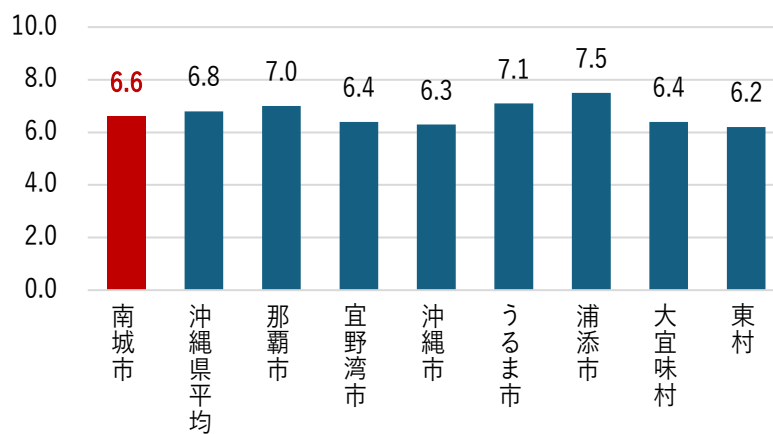
② 生活満足度

「現在、あなたは、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか」に0点（とても不満足）～10点（とても満足）で回答する生活満足度について、幸福度と同様に8点が22.4%で最も多く、平均は6.6点でした。幸福度と同様に県平均及び県内自治体と比較すると、県平均（6.8点）をわずかに下回っています。

【南城市の生活満足度】



【生活満足度の県平均、他自治体との比較】

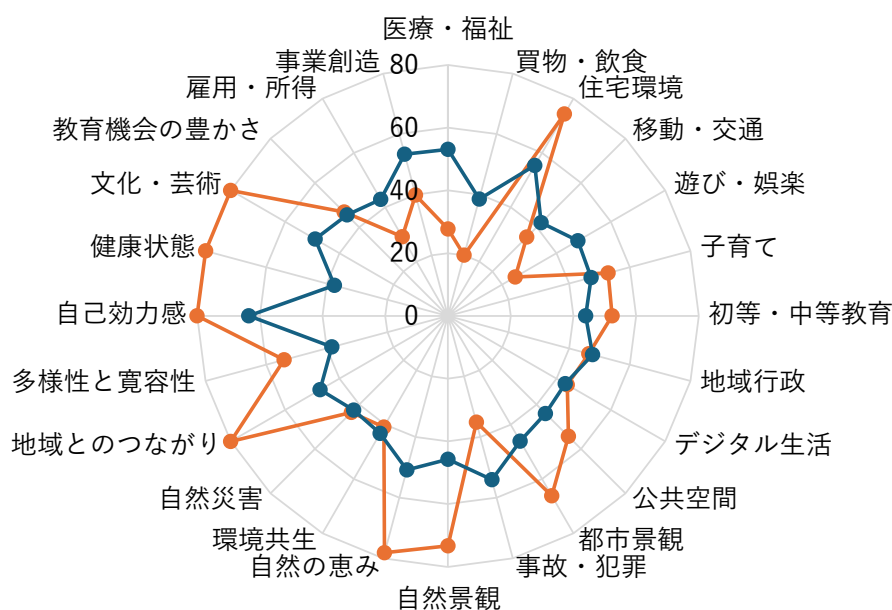


(2) 分野別結果

① 南城市の分野別偏差値

24分野別の市民アンケート結果（主観）の偏差値と統計データ（客観）の偏差値をレーダーチャートで示すと次のとおりです。主観データの偏差値をみると「地域とのつながり」や「自己効力感」、「健康状態」、「文化・芸術」が高い一方、「買物・飲食」が低くなっています。客観データでは「自己効力感」が高い一方、「健康状態」が低くなっています。

【南城市の分野別偏差値】



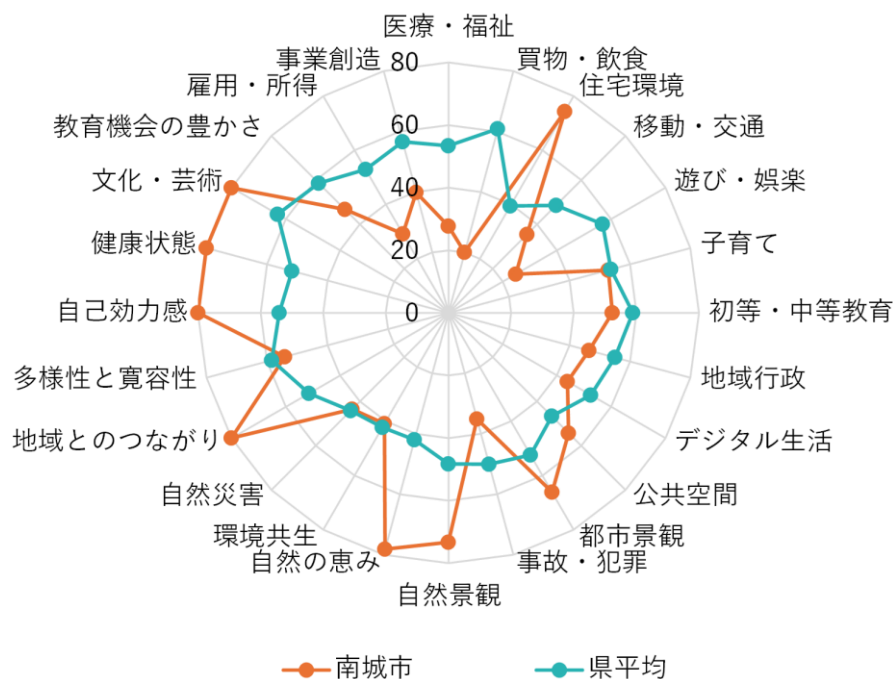
—●— 主観データ偏差値 —●— 客観データ偏差値

評価指標	主観データ偏差値	客観データ偏差値
医療・福祉	27.7	53.1
買物・飲食	20.0	38.5
住宅環境	74.3	55.4
移動・交通	35.5	42.0
遊び・娯楽	24.8	47.8
子育て	52.9	47.3
初等・中等教育	52.3	43.9
地域行政	46.5	47.7
デジタル生活	43.9	43.2
公共空間	54.3	44.0
都市景観	66.2	46.1
事故・犯罪	35.1	54.1
自然景観	73.3	45.7
自然の恵み	78.2	50.8
環境共生	40.9	43.3
自然災害	43.5	42.5
地域とのつながり	80.0	47.1
多様性と寛容性	54.1	38.3
自己効力感	80.0	63.5
健康状態	80.0	37.5
文化・芸術	80.0	48.9
教育機会の豊かさ	46.8	45.5
雇用・所得	29.1	42.9
事業創造	39.9	53.3

② 沖縄県平均との比較

デジタル庁が実施している全国調査の沖縄県平均の主観データ偏差値と比較すると、県平均より20以上高いのは、「自然の恵み」、「住宅環境」、「地域とのつながり」、「健康状態」、「自己効力感」、「自然景観」となっています。一方、県平均より20以上低いのは「買物・飲食」、「遊び・娯楽」、「医療・福祉」、「雇用・所得」となっています。

【主観データ偏差値 南城市と県平均】

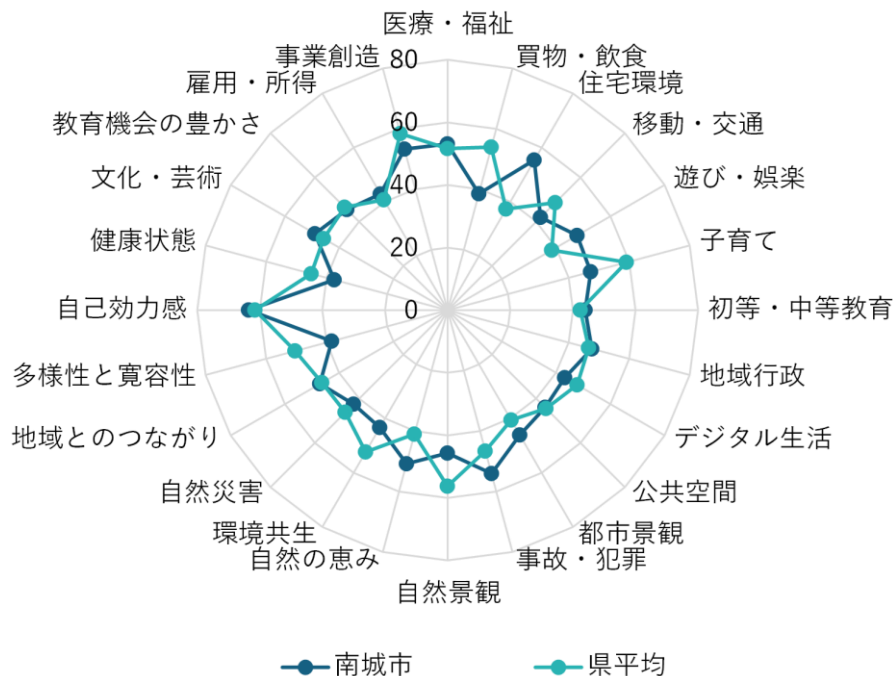


評価指標	主観データ偏差値									
	県平均	南城市	県平均との差	那覇市	宜野湾市	浦添市	沖縄市	うるま市	大宜味村	東村
医療・福祉	53.4	27.7	-25.7	56.4	49.7	77.9	47.5	54.1	37.7	20.0
買物・飲食	60.9	20.0	-40.9	63.3	57.8	79.5	55.2	62.9	20.0	20.0
住宅環境	39.5	74.3	34.8	41.8	24.0	78.4	40.9	52.2	69.4	55.5
移動・交通	48.6	35.5	-13.1	56.9	47.7	60.4	46.9	44.0	35.9	25.2
遊び・娯楽	56.8	24.8	-32.0	62.6	54.7	78.6	55.8	52.5	26.2	21.4
子育て	53.7	52.9	-0.8	55.7	48.4	78.2	48.9	56.5	51.6	59.2
初等・中等教育	58.9	52.3	-6.6	61.7	56.8	80.0	54.4	58.9	50.9	22.8
地域行政	55.0	46.5	-8.5	62.1	51.0	73.7	48.3	54.3	48.1	46.4
デジタル生活	52.5	43.9	-8.6	56.9	49.9	80.0	48.1	49.4	35.6	27.5
公共空間	46.7	54.3	7.6	57.6	35.5	68.4	43.3	46.6	56.1	44.9
都市景観	52.4	66.2	13.8	62.8	46.0	62.0	43.0	52.3	45.6	42.6
事故・犯罪	50.1	35.1	-15.0	55.8	47.6	72.1	45.2	47.4	38.1	28.1
自然景観	48.3	73.3	25.0	55.3	42.1	58.3	38.6	56.7	80.0	72.5
自然の恵み	42.0	78.2	36.2	43.7	32.6	54.7	37.9	51.7	79.7	78.1
環境共生	42.2	40.9	-1.3	52.5	36.6	71.4	31.3	43.2	40.0	35.0
自然災害	44.2	43.5	-0.7	57.3	36.4	75.4	36.6	46.2	45.2	37.6
地域とのつながり	51.4	80.0	28.6	51.8	47.7	80.0	43.4	60.7	80.0	80.0
多様性と寛容性	58.4	54.1	-4.3	66.7	52.0	80.0	49.3	65.7	76.7	50.9
自己効力感	54.0	80.0	26.0	56.1	51.8	80.0	42.1	62.3	80.0	80.0
健康状態	51.7	80.0	28.3	45.9	42.7	80.0	46.4	69.9	80.0	80.0
文化・芸術	63.0	80.0	17.0	73.3	59.6	80.0	57.0	62.3	80.0	80.0
教育機会の豊かさ	58.6	46.8	-11.8	70.0	56.2	80.0	48.4	56.7	56.9	44.6
雇用・所得	52.9	29.1	-23.8	57.5	46.7	72.5	48.0	53.9	31.1	24.7
事業創造	56.6	39.9	-16.7	68.2	51.3	80.0	51.1	55.0	44.4	35.7

※那覇市から東村は、デジタル庁が公表している偏差値を参考として記載している。

同様に、沖縄県平均の客観データ偏差値と比較すると、県平均より10以上高いのは、「住宅環境」となっている一方、県平均より20以上低いのは「買物・飲食」、「多様性と寛容性」、「子育て」、「自然景観」となっています。

【客観データ偏差値 南城市と県平均】



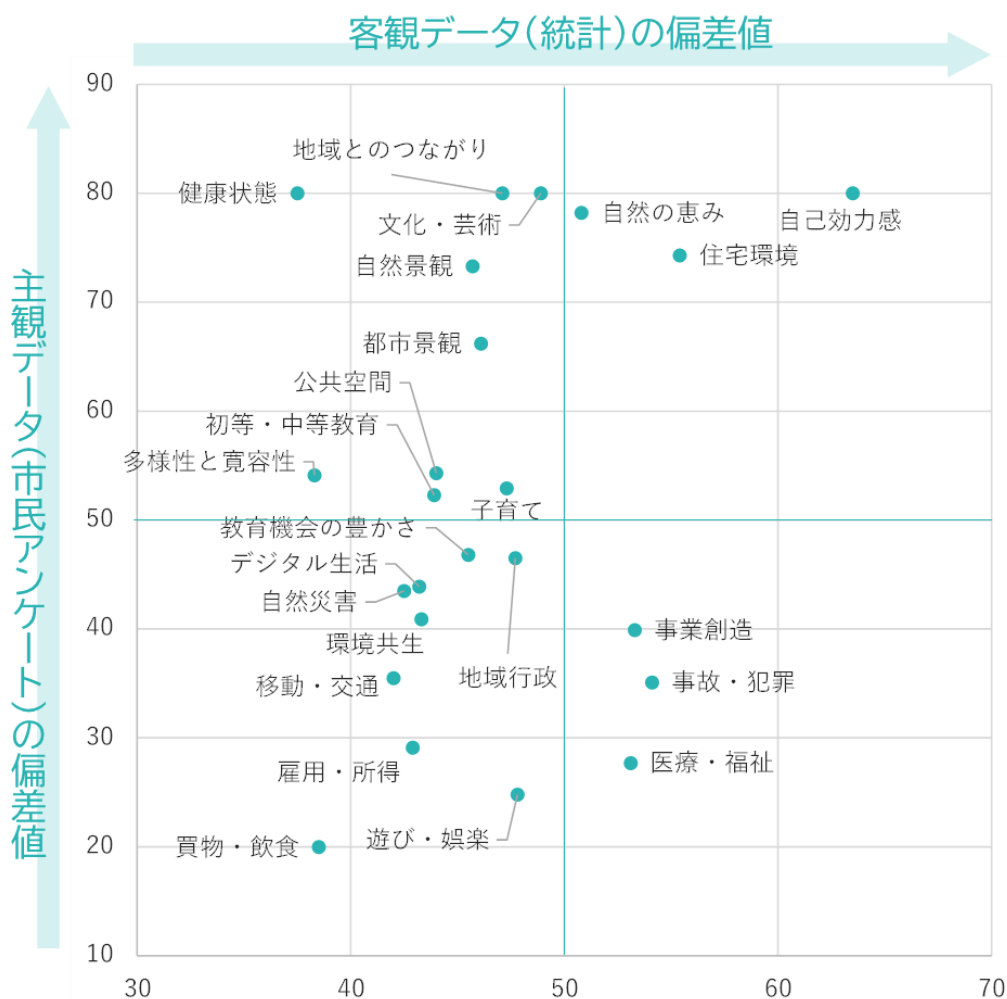
評価指標	客観データ偏差値									
	県平均	南城市	県平均との差	那覇市	宜野湾市	浦添市	沖縄市	うるま市	大宜味村	東村
医療・福祉	51.7	53.1	1.4	50.8	51.7	52.6	53.8	53.1	49.0	47.8
買物・飲食	54.0	38.5	-15.5	61.7	54.1	56.2	52.3	44.6	35.9	38.0
住宅環境	37.3	55.4	18.1	41.0	43.7	43.6	47.2	51.2	55.0	55.2
移動・交通	48.6	42.0	-6.6	54.9	48.2	50.0	45.0	44.3	26.3	26.0
遊び・娯楽	38.4	47.8	9.4	55.2	53.0	54.7	48.4	48.4	46.6	80.0
子育て	59.1	47.3	-11.8	53.2	52.0	51.0	54.8	56.4	36.6	46.9
初等・中等教育	42.4	43.9	1.5	57.9	51.4	54.1	48.7	46.0	43.0	42.3
地域行政	46.6	47.7	1.1	49.8	43.2	52.0	46.1	41.8	38.1	54.2
デジタル生活	47.8	43.2	-4.6	56.0	48.8	41.9	50.3	39.9	27.5	33.4
公共空間	44.4	44.0	-0.4	53.4	49.4	49.0	51.4	52.6	37.5	39.3
都市景観	40.6	46.1	5.5	46.1	46.1	46.1	46.1	46.1	35.7	35.7
事故・犯罪	46.6	54.1	7.5	53.3	56.8	56.7	58.3	60.1	63.0	59.2
自然景観	56.3	45.7	-10.6	52.9	38.5	45.7	38.5	45.7	52.9	45.7
自然の恵み	41.0	50.8	9.8	43.0	44.0	43.0	47.0	49.7	57.0	57.1
環境共生	52.3	43.3	-9.0	50.9	45.5	47.5	53.3	50.7	45.1	46.6
自然災害	46.2	42.5	-3.7	49.2	48.4	46.7	48.7	47.4	38.7	44.3
地域とのつながり	46.4	47.1	0.7	43.3	46.7	44.3	42.5	44.8	44.0	51.6
多様性と寛容性	50.4	38.3	-12.1	52.8	49.5	47.4	43.7	41.2	33.3	31.9
自己効力感	61.5	63.5	2.0	45.1	54.8	56.4	49.2	58.2	52.7	53.6
健康状態	45.1	37.5	-7.6	40.0	47.9	43.1	37.8	31.3	34.0	40.6
文化・芸術	45.7	48.9	3.2	53.7	45.8	48.4	47.9	44.5	44.6	44.4
教育機会の豊かさ	46.5	45.5	-1.0	51.9	50.7	46.3	44.4	44.4	46.6	50.3
雇用・所得	40.7	42.9	2.2	37.0	38.1	41.0	34.8	37.6	39.7	45.7
事業創造	58.4	53.3	-5.1	54.5	51.1	53.4	50.5	54.4	42.0	50.4

3. 南城市の地域幸福度 Well-Being 指標の活用

(1) 24 分野の取組方向性の検討

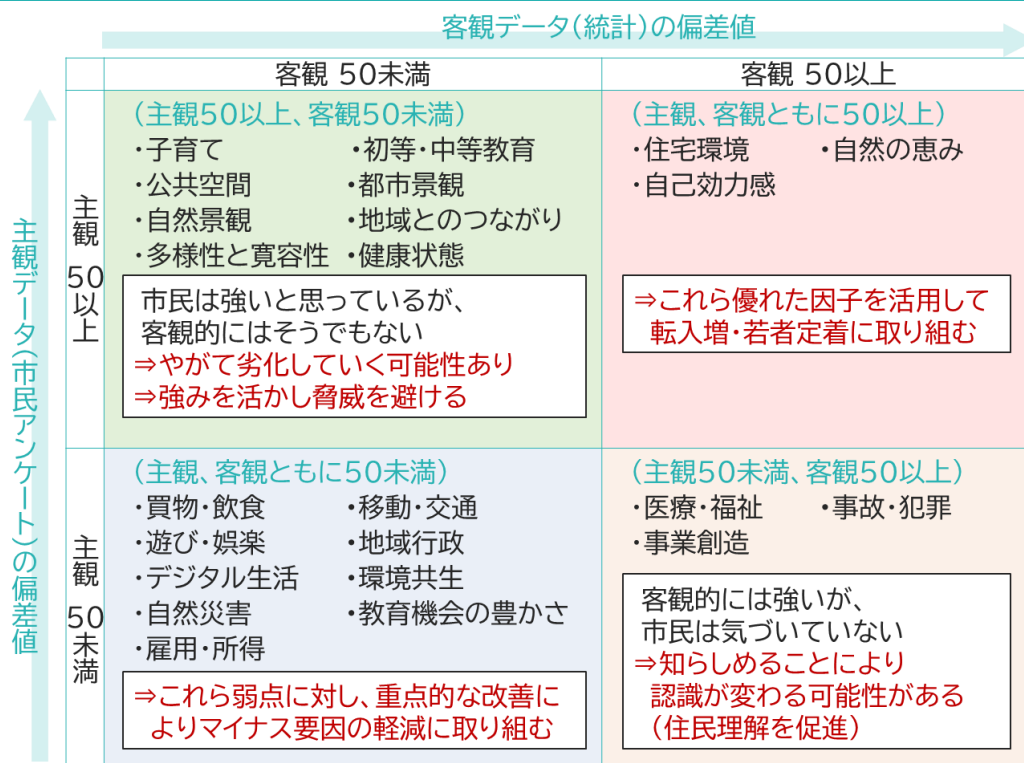
南城市の Well-Being 指標について、横軸を客観データ（統計）の偏差値、縦軸を主観データ（市民アンケート）の偏差値とする散布図で示すと次のとおりです。

【南城市 主観・客観データ偏差値の散布図】



上記散布図の24分野を、主観・客観データそれぞれ、偏差値50で4つの区分に分けたとき、該当する分野と想定される取組の方向性について整理しました。

区分	カテゴリー（分野）	想定される取組の方向性
主観 50 以上 客観 50 未満	<ul style="list-style-type: none"> 子育て 初等・中等教育 公共空間 都市景観 自然景観 地域とのつながり 多様性と寛容性 健康状態 	<ul style="list-style-type: none"> 市民はよいと思っているが、客観的にはそうでもない。 整備・推進していかなくては、やがて劣化していく可能性がある分野。
主観 50 以上 客観 50 以上	<ul style="list-style-type: none"> 住宅環境 自然の恵み 自己効力感 	<ul style="list-style-type: none"> 南城市のウリである分野。この分野を活用して転入増や若者定着に取り組む。
主観 50 未満 客観 50 以上	<ul style="list-style-type: none"> 医療・福祉 事故・犯罪 事業創造 	<ul style="list-style-type: none"> 客観的にはよいが市民は気づいていない分野。 住民理解を促進することにより、主観の偏差値も向上し、南城市のウリになる可能性がある。
主観 50 未満 客観 50 未満	<ul style="list-style-type: none"> 買物・飲食 移動・交通 遊び・娯楽 地域行政 デジタル生活 環境共生 自然災害 教育機会の豊かさ 雇用・所得 	<ul style="list-style-type: none"> 市民からみても客観的にみても弱く、重点的に取り組む必要がある分野。



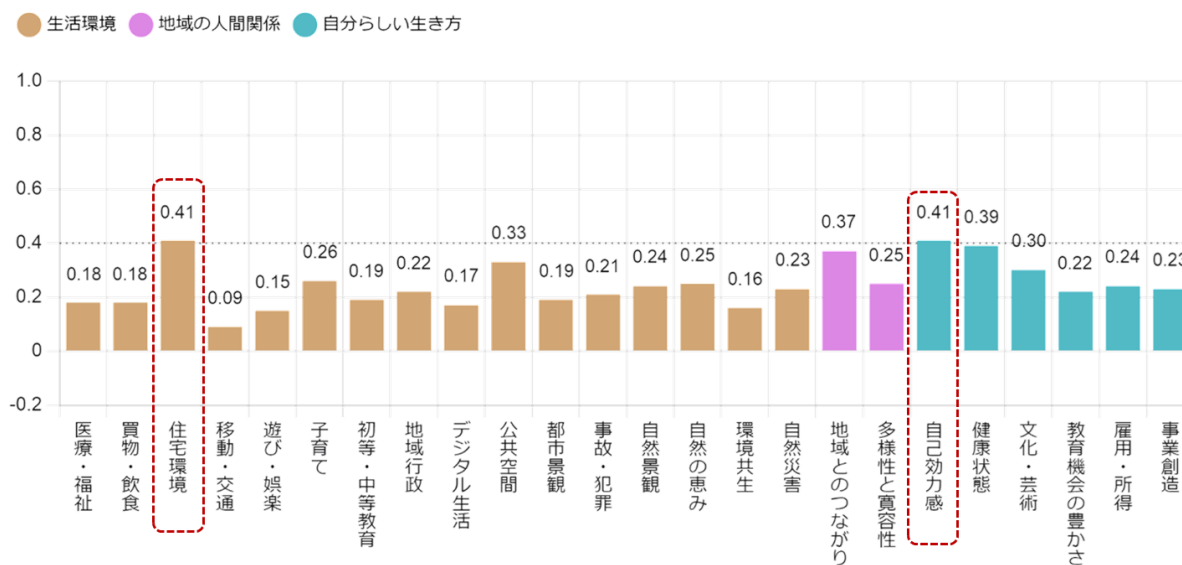
(2) 施策の優先度

① 幸福度・生活満足度と因子との相関分析

1) 幸福度と因子との相関分析

どの分野の偏差値が高ければ幸福度が高いのかを示す、幸福度と因子との相関係数をみると、0.4以上は「住宅環境」、「自己効力感」となっています。

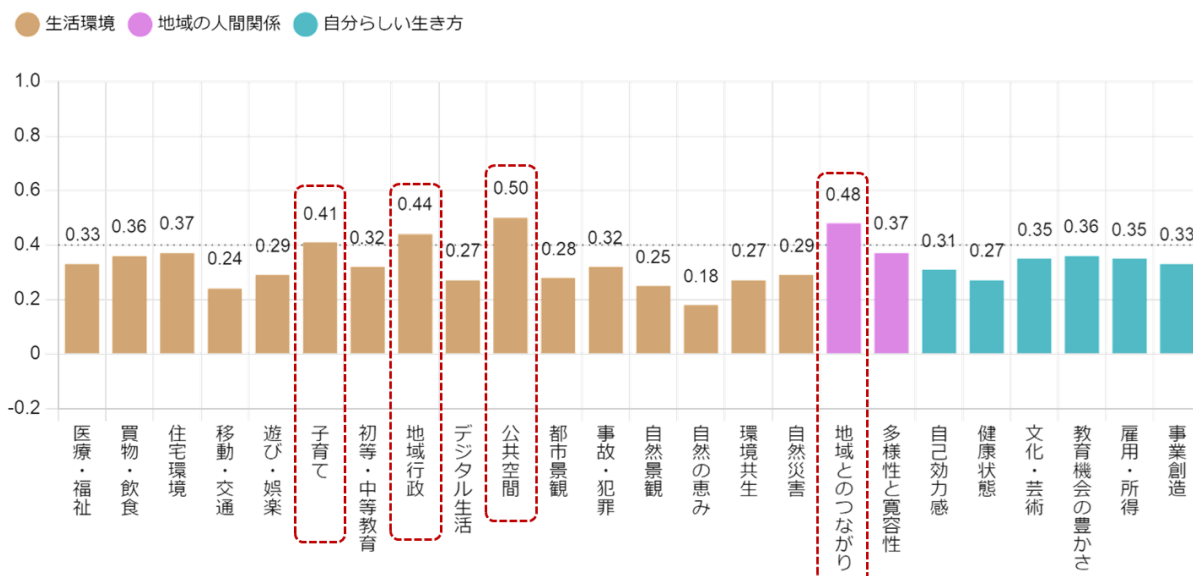
【南城市の幸福度と因子との相関係数】



2) 生活満足度と因子との相関分析

どの分野の偏差値が高ければ生活満足度が高いのかを示す、生活満足度と因子との相関係数をみると、0.4以上は「公共空間」、「地域とのつながり」、「地域行政」、「子育て」となっています。

【南城市の生活満足度と因子との相関係数】



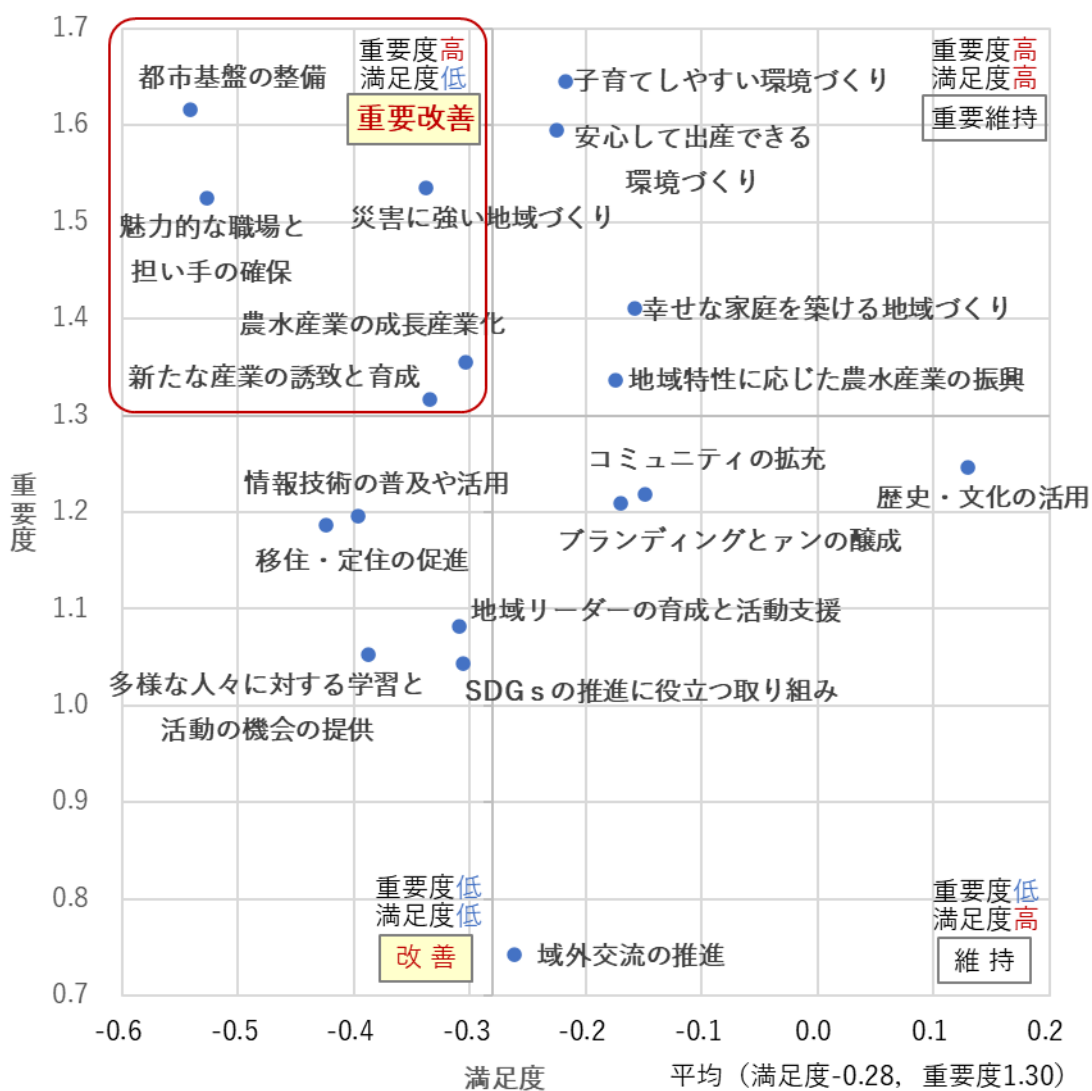
② 第2期戦略に基づく施策に対する市民の満足度・重要度との関係

市民アンケート調査において、第2期戦略に基づく各施策について、どの程度満足し、今後取り組むことが、どの程度重要であるかを把握するため、現在の満足度（満足、やや満足、やや不満、不満の4段階で1つ選択）と今後の重要度（重要、やや重要、あまり重要ではない、重要ではないの4段階で1つ選択）を聞き、点数化しました。横軸を現在の満足度、縦軸を今後の重要度とした散布図は次のとおりです。

現在の満足度が低く、今後の重要度が高い＝喫緊に取り組まなければならない重要改善の施策は、「都市基盤の整備」、「魅力的な職場と担い手の確保」、「災害に強いまちづくり」、「農水産業の成長産業化」、「新たな産業の誘致と育成」となっています。

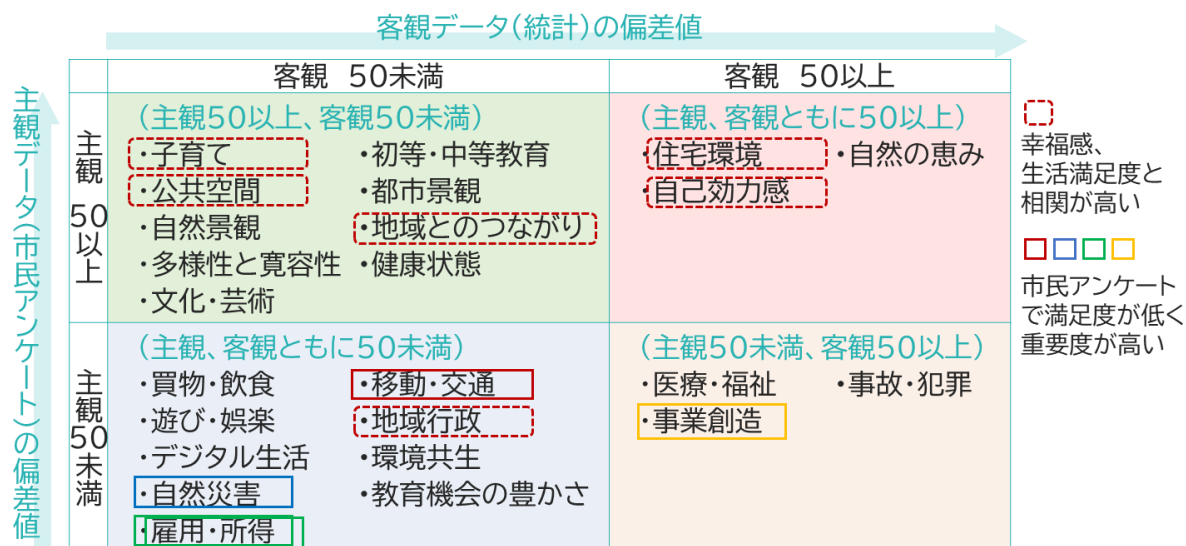
Well-Being 指標では、「都市基盤の整備」は「移動・交通」、「魅力的な職場と担い手の確保」と「農水産業の成長産業化」は「雇用・所得」、「災害に強いまちづくり」は「自然災害」、「新たな産業の誘致と育成」は「事業創造」に区分されます。

【第2期戦略の施策に対する現在の満足度・今後の重要度】



③ 施策の優先度の検討

①の幸福度・生活満足度との関係が強い分野、②の第2期戦略の施策で市民の満足度が低く重要度が高い分野を、(1) 24分野の取組方向性の検討で示した主観・客観データの散布図でみると、次のとおりです。



24分野の中でも、これら幸福度や生活満足度と密接する分野、市民が今後重要と考える分野は、優先して取り組む分野であると考えられます。

さらに、今後10年、総人口は増加し、2035年より減少に転じますが、高齢者数は一貫して増加するといった人口動向や、南部東道路の開通により、今後も市西側を中心に転入者が増加し、それに伴い、住宅や雇用の需要が高まる見込みである社会・経済動向等を踏まえると、第3期戦略策定のポイント

① 若者を中心としたUターン者の受入促進

- ・住宅・生活支援、就労・起業支援（帰って働ける仕組み）、情報発信・関係づくり等

② 若者を中心とした定住促進

- ・子育て支援、起業・副業支援、地域コミュニティとの接点強化、交通・インフラ改善等

③ 今後も増え続ける高齢者の地域参加促進

- ・地域支え合いの強化、生きがい創出、起業支援、コミュニティ活動への参画促進等

につながる、「雇用・所得」、「子育て」、「地域とのつながり」、「移動・交通」が、直近5年で特に優先度の高い分野であると考えられます。